

2. 学生の動向

2-1. 指導学生数 推移

2-1-1. 学部

	2 年次学生		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行動学	35	27	21
社会学	38	28	37
教育学	40	43	43
共生学	23	31	32
グローバル人間学			
人間科学コース	15	9	7
配属外	0	4	2
計	151	142	142

(人)

	3 年次学生		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行動学	38	37	32
社会学	30	40	30
教育学	46	43	46
共生学	27	26	34
グローバル人間学			
人間科学コース	14	15	9
配属外	0	0	0
計	155	161	151

(人)

	4 年次学生		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行動学	38	46	44
社会学	45	35	44
教育学	48	54	52
共生学	35	35	42
グローバル人間学	1	0	0
人間科学コース	15	15	16
配属外	0	0	0
計	182	185	198

(人)

学部卒業者	学部		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
行動学科目/専修	31	39	40
社会学・人間学科目/専修	40	32	39
教育学科目/専修	39	44	46
共生学科目/専修	28	18	32
グローバル人間学	0	0	0
人間科学コース	9	12	16
計	147	145	173

(人)

2-1-2. 博士課程前期

	前期1年生		
	R4年度	R5年度	R6年度
人間行動学	12	14	14
行動生態学	11	8	6
社会環境学	10	10	13
基礎人間科学	14	15	12
臨床教育学	20	14	13
教育環境学	12	12	8
未来共生学	13	15	10
グローバル共生学	10	8	8
計	102	96	84

(人)

	前期2年生		
	R4年度	R5年度	R6年度
人間行動学	14	16	17
行動生態学	16	12	10
社会環境学	24	11	11
基礎人間科学	7	16	21
臨床教育学	27	24	19
教育環境学	10	15	18
未来共生学	17	21	16
グローバル共生学	11	10	10
計	126	125	122

(人)

(前期3年以上の在籍を含む)

大学院博士前期課程 修了者	博士前期課程		
	R4年度	R5年度	R6年度
人間行動学	10	12	12
行動生態学	14	10	7
社会環境学	17	10	9
基礎人間科学	4	10	15
臨床教育学	23	19	15
教育環境学	7	8	13
未来共生学	11	18	11
グローバル共生学	10	8	9
計	96	95	91

(人)

2-1-3. 博士課程後期

	後期 1 年生		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
人間行動学	8	5	9
行動生態学	3	3	1
社会環境学	5	2	2
基礎人間科学	6	7	4
臨床教育学	8	7	8
教育環境学	4	5	7
未来共生学	4	6	7
グローバル共生学	4	2	0
計	42	37	38

(人)

	後期 2 年生		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
人間行動学	4	8	5
行動生態学	2	3	3
社会環境学	3	2	3
基礎人間科学	7	5	7
臨床教育学	3	8	7
教育環境学	3	4	5
未来共生学	6	7	5
グローバル共生学	5	4	3
計	33	41	38

(人)

	後期 3 年生		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
人間行動学	9	6	11
行動生態学	3	3	4
社会環境学	8	4	4
基礎人間科学	19	23	19
臨床教育学	17	13	15
教育環境学	8	9	7
未来共生学	34	30	26
グローバル共生学	9	11	7
計	107	99	93

(人)

(後期 4 年以上の在籍を含む)

大学院博士後期課程 修了者	博士後期課程		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
人間行動学	6	1	6
行動生態学	2	0	2
社会環境学	2	2	1
基礎人間科学	1	5	2
臨床教育学	3	1	2
教育環境学	1	1	4
未来共生学	7	9	7
グローバル共生学	2	4	1
計	24	23	25

(人)

(注) 大学院博士後期課程修了者とは、学位取得者を指す。

(注) 当該年度中の単位修得退学者を含む。

(注) 当該年度の 9 月修了者及び早期修了者を含む。

【単位修得退学後 3 年以内の論文提出により修了した者の取扱い】

・当該年度の集計時点(3 月 1 日)において在籍(在学・留学・休学)していれば在籍者に含む。単位修得退学が当該年度の集計時点より前の者は含まない。

・単位修得退学が当該年度内であれば修了者に含む。単位修得退が当該年度より前であれば含まない。

2-2. 2024 年度 大学院生の研究活動記録

注

1. 「2024 年度 大学院生自己申告シート」による。
2. 印刷中であっても掲載が決まっているものは、本年度実績として記載可。
3. 昨年度の発表・受賞・採択であっても、昨年度未申告のために未掲載のものは掲載。
4. 記載方法及び論文の審査有無は院生自身の自己申告による。

2-2-1. 行動学系

行動学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	80 名	79 名	98.8 %	48 名	60.0 %

(注)

- ・回答のあった早期修了者 1 名の業績についても掲載。(収集時の対象者ではないため、集計には含まない。)
- ・在籍者には休学者を含む。

指導教員	入戸野 宏	研究分野	基礎心理学
------	-------	------	-------

学生氏名	石田 海		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Decoding predicted musical notes from omitted stimulus potentials		Kai Ishida, Tomomi Ishida, Hiroshi Nittono	202405	Scientific Reports, 14, 11164	○
学術論文	Multidimensional regularity processing in music: An examination using redundant signals effect		Kai Ishida, Hiroshi Nittono	202407	Experimental Brain Research, 242, 9, 2207-2217	○
学術論文	Different voice part perceptions in polyphonic and homophonic musical textures		Kai Ishida, Hiroshi Nittono	202409	Psychology of Music, 35, 6, 270-278	○
学会・研究会等発表	メロディ音の予測可能性が欠落時の事象関連電位に与える影響		石田海, 石田友美, 入戸野宏	202405	生理心理学と精神生理学, 42, 1, 81-81, 第 42 回日本生理心理学会大会	-
学会・研究会等発表	音楽知覚における予測の多次元性: 事象関連電位による研究		石田海	202409	日本心理学会第 88 回大会 小講演	-
学会・研究会等発表	Statistical leaning of novel chord transition patterns in adult nonmusicians: An MMN Study		Kai Ishida, Hiroshi Nittono	202409	The 10th World Mismatch Negativity Conference	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和 6 年度科学研究費助成事業 特別研究員奨励費	石田海	202405	日本学術振興会
助成金	英語論文校正支援 (大阪大学)	石田海	202406	大阪大学
助成金	英語論文のオープンアクセス支援事業 (大阪大学)	石田海	202406	大阪大学

学生氏名	石田 友美		学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Visual omitted stimulus potentials are not retinotopic		Tomomi Ishida, Hiroshi Nittono	202405	Neuroscience Letters, 830, 137777	○
学術論文	Decoding predicted musical notes from omitted stimulus potentials		Kai Ishida, Tomomi Ishida, Hiroshi Nittono	202405	Scientific Reports, 14, 1, 11164	○
学会・研究会等発表	視覚刺激の欠落によって生じる電位は網膜部位対応を示さない		Tomomi Ishida, Hiroshi Nittono	202405	第 42 回日本生理心理学会大会	-
学会・研究会等発表	メロディ音の予測可能性が欠落時の事象関連電位に与える影響		Kai Ishida, Tomomi Ishida, Hiroshi Nittono	202405	第 42 回日本生理心理学会大会	-

学生氏名	大湾 麻衣		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Exploring the Utility of a Machine Learning Approach with Mobile-Based Cognitive Function Tasks for Detecting Depression		Momoka Takeshige, Taiki Oka, Mai Ohwan, Kei Hirai	202412	Japanese Psychological Research, 67, 2, Early View	○
学会・研究会等発表	モバイルデバイス上の認知課題を用いたうつ病および脳疲労の検出		平井 啓・武重 百香・大湾 麻衣・岡 大樹・戸田 梨鈴	202409	日本心理学会第 88 回大会	-

学生氏名	中村 野々香	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	動物画像の感情価とサイズが接近一回避の姿勢反応に及ぼす影響	中村野々香・郷原皓彦・入野野宏	202405	日本生理心理学会第42回大会	-

学生氏名	八木 紅音	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Considering cuteness enhances smiling responses to infant faces	Nittono, H., & Ohashi, A.	202410	Japanese Psychological Research, 66, 4, 462-472	○
学会・研究会等発表	かわいいと感じることに影響するベビースキーマ以外の要因	八木(大橋) 紅音・入野野宏	202409	日本心理学会第88回大会	-
学会・研究会等発表	他者にタッチされている物体はかわいいと感じられるか?	八木(大橋) 紅音・入野野宏	202409	北摂心理学連合 2023年度卒論など合同発表集会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	日本心理学会第88回大会 学術大会優秀発表賞	八木(大橋) 紅音・入野野宏	202412	日本心理学会

学生氏名	新井 奏音	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	バイノーラル音を背景音として聴取するときの心理生理状態	新井奏音・石田海・入野野宏	202503	生理心理学と精神生理学, 印刷中	○
学会・研究会等発表	バイノーラル音源とモノラル音源の聴取が視覚課題の遂行と心理生理反応に及ぼす影響	新井奏音・石田海・入野野宏	202405	生理心理学と精神生理学, 42, 1, 90-90, 第42回日本生理心理学会大会	-

指導教員	篠原 一光	研究分野	応用認知心理学
------	-------	------	---------

学生氏名	大江 龍太郎	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	自己選択したBGMの提示がジジランス課題中の課題エンゲージメントと覚醒に与える影響	大江龍太郎・木村司・篠原一光	202406	日本認知心理学会大会論文集, 2024, 57-57, 日本認知心理学会第22回大会	-

学生氏名	増田 奈央子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ネガティブ感情と覚醒度が注意資源とハザード知覚に与える影響	増田奈央子・木村司・篠原一光	202503	注意と認知第23回研究会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大阪大学学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	増田奈央子	202404	大阪大学学際大学院機構

指導教員	三浦 麻子	研究分野	社会心理学
------	-------	------	-------

学生氏名	WEN RUOHAN	学年	DC3
------	------------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	NHK 財団インフォメーション・ヘルス AWARD 2024 グランプリ	Wen Ruohan	202404	NHK 財団

学生氏名	李 蓀理	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Impact of task reward-manipulated personal relative deprivation on the discourse of self-responsibility toward the unemployed	Ryulri Lee, Asako Miura	202412	THE JAPANESE JOURNAL OF EXPERIMENTAL SOCIAL PSYCHOLOGY, -, -, -	○

大学・研究所等の報告	互恵性の負の連鎖—不公正な扱いを受けると第三者にも不公正な扱いをするのか？	仁科 国之, 川邊 華麟, 戴 宇熙, 武田 拓海, 安井 優馬, 西辻 好花, 李 葦理, 趙 心語, 三浦 麻子	202403	未来共創,11,3-23	○
------------	---------------------------------------	--	--------	--------------	---

学生氏名	武田 拓海	学年	MC1
------	-------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	第2回 NHK インフォメーションヘルスアワード	大阪大学人間科学部社会心理学研究分野実験実習受講生	202412	NHK 財団

学生氏名	萩谷 遥平	学年	MC1
------	-------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	第2回 インフォメーション・ヘルス AWARD 特別賞	大阪大学人間科学部・社会心理学研究分野 実験実習受講生	202412	NHK 財団

指導教員	綿村 英一郎	研究分野	社会心理学
------	--------	------	-------

学生氏名	ZHAO XINYU	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Cultural Generalizability of the False Signaling Theory: A Replication Study Using a Japanese Sample	Xinyu Zhao, Eiichiro Watamura	202410	Japanese Psychological Research,印刷中	○
学会・研究会等発表	警告メッセージの内容とタバコ企業に対する偽善評価の関連性	趙心語, 呉長憶, 綿村英一郎	202409	日本心理学会第 88 回大会	-
学会・研究会等発表	菸盒警示與菸草公司形象的關聯：文字警示訊息為例	趙心語, 呉長憶, 綿村英一郎	202410	2024 台灣心理學會年會	-
学会・研究会等発表	Assessing AI-Generated Content: Exploring the Impact of Language Proficiency on Teachers' Detection Abilities	Tianshi Hao, Xinyu Zhao	202411	University of Southern California, Teaching English to Speakers of Other Languages (USC TESOL) Conference, (USA, LA)	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	2024 年度 公益財団法人たばこ総合研究センター研究助成	趙心語	202404	公益財団法人たばこ総合研究センター

学生氏名	貞村 真宏	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Comparing Attitudes toward Sexual Consent between Japan and Canada	Tomoya Mukai, Chantal Pioch, Masahiro Sadamura, Karin Tozuka, Yui Fukushima, Ikuo Aizawa	202403	Sexes,5,2,46-57	○
学術論文	母親による児童虐待事案における量刑判断, 伝統的性役割態度, 非難の関連	向井, 智哉, 井奥, 智大, 岩谷, 舟真, 貞村, 真宏, 田中, 晶子, 松木, 祐馬, 湯山, 祥, 綿村, 英一郎	202403	パーソナリティ研究,32,3,179-187	○
学術論文	性的 (不) 同意の構造および性差の検討	向井智哉, 福島由衣, 相澤育郎, 貞村真宏, 外塚果林	202403	福山大学人間文化学部紀要,24,20-35	-
学術論文	性犯罪に関する市民意識の測定のためのシナリオおよび尺度の検討	向井智哉, 福島由衣, 外塚果林, 貞村真宏, 相澤育郎	202403	福山大学こころの健康相談室紀要,6,11-29	-
学術論文	特定少年実名報道と原因帰属の相互メカニズム—個人化論の観点から	向井 智哉, 松木 祐馬, 貞村 真宏, 湯山 祥, 綿村 英一郎	202405	パーソナリティ研究,33,1,21-31	○
学術論文	刑事裁判判決文における各種感情への言及	向井 智哉, 湯山 祥, 新井 忍, 松木 祐馬, 貞村 真宏, 小泉 瑠璃	202409	感情心理学研究,32,1,11-20	○

学術論文	特定少年の実名報道がシャーデンフロイデおよび量刑判断に及ぼす効果	向井智哉, 湯山 祥, 貞村真宏, 松木祐馬, 綿村英一郎	202412	感情心理学研究 ,印刷中	○
学術論文	An exploratory study of decoding signs of child maltreatment: How case and reporter characteristics shape reporting decisions	Tomohiro Ioku, Shuma Iwatani, Yuki Yuyama, Tomoya Mukai, Akiko Tanaka, Yuma Matsuki, Masahiro Sadamura, Eiichiro Watamura	202501	Child Protection and Practice,印刷中	○
学会・研究会等発表	特定少年の実名報道がシャーデンフロイデおよび量刑に及ぼす効果	貞村真宏, 向井智哉, 松木祐馬, 湯山 祥, 綿村英一郎	202410	法と心理学会第 25 回大会	-
学会・研究会等発表	幼少期の虐待は刑の減輕事由と見なされるのか	井奥智大, 向井智哉, 綿村英一郎, 田中晶子, 湯山 祥, 松木祐馬, 岩谷舟真, 貞村真宏	202410	法と心理学会第 25 回大会	-

学生氏名	LIU YICHEN		学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Judges versus artificial intelligence in juror decision-making in criminal trials: Evidence from two pre-registered experiments		Eiichiro Watamura, Yichen Liu, Tomohiro Ioku	202501	PLOS ONE,20,1,e0318486	○

指導教員	権藤 恭之	研究分野	臨床死生学・老年行動学
------	-------	------	-------------

学生氏名	佐藤 都也子		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中高年者の術後せん妄疑似体験に対する態度と性差, 主観的健康統制感およびビッグ 5 性格特性との関連		佐藤 都也子・権藤 恭之・平上 久美子	202411	第 19 回日本応用老年学会大会	○

学生氏名	LI XIAOXUAN		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	The Design of Visual, Cognitive, and Physical Modalities in VR Games for Older Adults: A Systematic Review		Xiaoxuan Li, Takeshi Nakagawa, Xiangshi Ren, Yasuyuki Gondo	202501	International Journal of Human-Computer Interaction,1,26	○
国際会議 (proc あり)	Designing a Multisensory VR Game Prototype for Older Adults the Acceptability and Design Implications		Xiaoxuan Li; Xiangshi Ren; Xin Suzuki; Naoaki Yamaji; Johnny Fung; Yasuyuki Gondo	202405	Proceedings of the 2024 CHI Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI 24)	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	国際会議論文発表者助成事業	LI XIAOXUAN	202405	公益財団法人 NEC C&C 財団

学生氏名	菊地 亜華里		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	The Effects of Age and Cultural Differences on the Relationship Between Aging Anxiety and Ageism: Focusing on Social Identity Theory		Akari Kikuchi, Peter Martin, Yasuyuki Gondo	202411	The international journal of aging and human development,Online first,印刷中	○
学術論文	団塊の世代および全共闘世代の高齢者にみられる最近の若者効果の検討—昔の若者と最近の若者のイメージ比較—		菊地亜華里・Pongampai Korapin・権藤恭之	(選択)	応用老年学,19,1,印刷中	○
学会・研究会等発表	最近の若者効果の検討: 最近の若者と昔の若者のイメージの比較		菊地亜華里・権藤恭之	202403	2023 年度第 2 回「生涯学」領域会議 (小田原)	-
学会・研究会等発表	最近の若者効果の検討: 最近の若者と昔の若者のイメージの比較		菊地亜華里・Pongampai Korapin・権藤恭之	202406	第 66 回日本老年社会科学会 (奈良)	○

大学・研究所等の報告	Disciplinary Variations in Graduate Student Experiences: A Study of Osaka University	Lilan Chen, Akari Kikuchi, Yuichiro Wajima, Tatsuo Kawashima	202412	UC Berkeley: Center for Studies in Higher Education,1-11	○
------------	--	--	--------	--	---

学生氏名	篠崎 未生	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Moderating effect of age on the relationship between physical health loss and emotional distress post-acute care in Japanese older hospitalized patients.	Shinozaki, M., Gondo, Y., Satake, S., Tanimoto, M., Yamaoka, A., Takemura, M., Kondo, I., & Arahata, Y.	202403	BMC Geriatrics,24,1,214	○				
学会・研究会等発表	立方体透視図模写画像による認知症移行予測のための機械学習モデルの開発	篠崎 未生・菱田 寛之・権藤 恭之・鈴木 貴・三浦 利奈・櫻井 孝・武田 章敬・新畑 豊	202406	第 66 回日本老年医学会学術集会	○				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	2024 年度英語論文校正支援	篠崎未生	202409	大阪大学研究推進部

学生氏名	WANG CAN	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc あり)	Comparison of health outcomes among two septuagenarian cohorts a decade apart in Japan	Can Wang, Yasuyuki Gondo, Takeshi Nakagawa, Yukie Masui, Kei Kamide, Ayaka Kasuga, Saori Yasumoto, Madoka Ogawa	202412	Innovation in Aging,8,Supplement_1,1972-1972, Gerontology Society of America Annual Meeting 2024	○				

学生氏名	上野 千代子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	高齢糖尿病患者におけるフットケア行動支援に関する国内研究の動向 -フットケア行動推移に着目して-	上野千代子・宮良淳子	202408	日本看護研究学会第 50 回学術集会講演集,261,日本看護研究学会第 50 回学術集会	○				

学生氏名	奥田 倍子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	意思決定プロセス尺度の妥当性の検討	奥田倍子・権藤恭之	202406	日本老年社会科学学会第 66 回大会	○				

学生氏名	中島 千宏	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	老年社会科学研究における人文科学研究の可能性	堀 薫夫・久保田治助・春日彩花・中島千宏	202406	老年社会科学,46,2,158-159,日本老年社会科学学会 第 66 回大会	○				

学生氏名	角田 百穂	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	選択的最適化補償理論(SOC)の日本語版尺度の信頼性の検討-SONIC 研究のデータを用いて-	角田百穂・権藤恭之・中川威・増井幸恵・神出計・池邊一典・石崎達郎	202406	第 66 回老年社会科学学会大会	○				
学会・研究会等発表	選択的最適化補償理論(SOC)の日本語版短縮尺度の作成	角田百穂・中川威・権藤恭之	202411	第 19 回日本応用老年学会	○				

国際会議 (proc あり)	Relationship Between Personality Traits and Preference for Coping Styles in Older Adults	Momoho Kakuta, Takeshi Nakagawa, Yukie Masui, Kei Kamide, Kazunori Ikebe, Tatsuro Ishizaki, Yasumichi Arai, Yasuyuki Gondo	202411	Gerontology Society of America annual meeting 2024	○
-------------------	--	--	--------	--	---

指導教員	三好 恵真子	研究分野	環境行動学
------	--------	------	-------

学生氏名	WANG SHINUO		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	日中「二つの東北」の痛みに向き合いながら生を営むという選択 —「単位制」の弱体化や戦争の痕跡を受け止めつつ災害を乗り越えようとする結婚移住した中国人女性の歴史実践—		王石諾・三好恵真子	202412	『生活学論叢』,45,15-29	○
学術論文	日中「二つの東北」を生きる結婚移民の女性たち—ライフストーリー法から拓かれていく「歴史実践」—		王石諾・三好恵真子	202503	『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』,51,印刷中	-
学会・研究会等発表	「単位制社会」の弱体化に伴う移動経験から見えてくる日中「二つの東北」の痛み —結婚移民となった中国人女性のライフストーリーを手掛かりに—		王石諾・三好恵真子	202406	日本現代中国学会 2024 年度関西部会	-
学会・研究会等発表	日中「二つの東北」の痛みに向き合いながら生き抜く中国人女性—「単位制社会」の弱体化に伴い結婚移民となった人々のライフストーリー—		王石諾・三好恵真子	202406	第 51 回日本生活学会研究発表大会	-
学会・研究会等発表	日中「二つの東北」を生きる結婚移民の中国人女性たち—「単位制」の弱体化や戦争の痕跡を受け止めつつ震災の傷を負った福島で生を営むという選択—		王石諾・三好恵真子	202409	日本オーラル・ヒストリー学会第 22 回大会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	変わりゆく中国東北部の工業風景をめぐる記憶 —福島に住む中国東北出身の女性の視点から—	王石諾・三好恵真子	202409	日本生活学会 2024 年度生活学プロジェクト助成

学生氏名	吉成 哲平		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	再帰的な撮影行為を介して拓かれていく「記憶の継承」の可能性—写真家たちが表現し続けた「戦後」を「写真実践」より問い直していく意味—		吉成哲平・三好恵真子	202503	大阪大学大学院人間科学研究科紀要,51,印刷中	-
学術論文	Methodological Potential of “Photography in Practice (shashin-jissen)” Depicting the Thought of Common People in the “Postwar” Period: Importance of the layered experience of Shōmei Tōmatsu deepening his understandings of the reality through photography		Tepppei Yoshinari, Emako Miyoshi	202503	Osaka Human Sciences,11,印刷中	-
学術論文	復帰後の沖縄の現実から問い直された「戦後」—写真家 東松照明が島々で確かめていった生活の実感—		吉成哲平・三好恵真子	202503	生活学論叢,46,印刷中	○
学会・研究会等発表	「戦後」の生活者の思想を討究する「写真実践」の方法論的可能性—ひとびとの距離を埋めゆく東松照明の重層的経験の意味—		吉成哲平・三好恵真子	202406	日本生活学会第 51 回研究発表大会	-
学会・研究会等発表	復帰後の沖縄の現実から問い直された「戦後」—写真家 東松照明が島々で確かめていった生活の実感—		吉成哲平・三好恵真子	202409	日本オーラル・ヒストリー学会第 22 回大会	-

学会・研究会等発表	写真家たちが向き合った 1970 年前後の現実—「写真 100 年」の歴史から内省した現場での撮影表現の意味—	吉成哲平	202410	大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・拠点形成プロジェクト「21 世紀課題群と東アジアの新環境:実践志向型地域研究の拠点構築」;大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・IMPACT オープンプロジェクト「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」(記憶の継承ラボ)シンポジウム「ポスト体験時代の記憶の継承—アジア地域史の視座から祈念する私たちのダイアログ—」	-
学会・研究会等発表	再帰的な撮影行為を介して拓かれていく「記憶の継承」の可能性—写真家たちが表現し続けた「戦後」を「写実実践」より問い直していく意味—	吉成哲平・三好恵真子	202412	第 27 回社会文化学会全国大会	-
その他	原爆がなし続けてきた時間の厚みを「私たち」の問いとして拓く展示へ	吉成哲平	202411	長崎の証言の会編『証言 2024—ナガサキ・ヒロシマの声』汐文社,38,26-27	-
一般書	『ポスト体験時代の記憶の継承—アジア地域史の視座から祈念する私たちのダイアログ—』	三好恵真子・吉成哲平編	202503	大阪大学中国文化フォーラム 第 2 部基調報告①「写真家たちが向き合った 1970 年前後の現実—「写真 100 年」の歴史から内省した現場での撮影表現の意味—」	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	「写実実践」による「戦後」の生活者の思想的営為の未来への継承—写真家たちが表現し続けた現場での再帰的な撮影行為の意味—	吉成哲平・三好恵真子	202409	日本生活学会

学生氏名	LENG XINYUAN	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中国の環境 NGO の独自の展開と受け継がれてゆく内在的自律性—若者世代の環境 NGO リーダーのライフストーリーに着目して—	冷昕媛, 三好恵真子	202406	日本生活学会第 51 回研究発表大会	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	日本生活学会 2024 年度生活学プロジェクト助成	冷 昕媛, 三好恵真子	202410	日本生活学会

学生氏名	CHAO MURILIGE	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中国内モンゴル自治区の放牧制限下における畜舎牧業—定住化にて生活するモンゴル人がなぜ牧畜から離れないのか—	朝木日力格	202406	日本現代中国学会 2024 年度関西支部大会	-
学会・研究会等発表	中国内モンゴル自治区における生業の変容とその影響—半農半牧村における作物栽培を手がかりとして—	朝木日力格・三好恵真子	202406	日本生活学会 第 51 回大会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大阪大学次世代研究者挑戦的研究プログラム「学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト」	CHAOMURILIGE	202404	日本科学技術振興機構

学生氏名	SHANGGUAN SHICONG	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中国におけるコロナ禍でのロックダウン経験と記憶に関する考察	上官世璵, 胡毓瑜, 三好恵真子	202406	日本生活学会第 51 回大会	-
その他	レスポンス③ 中国におけるコロナ禍でのロックダウン経験の記憶について—城山小学校平和記念館の活動から得た—考察	上官世璵	202403	『記憶の継承を記念するグローバル・ダイアログ』,18,229-240	-

学生氏名	JIANG XINGYU	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	中国における基層管理の変遷とその実践的展開—黒竜江省チチハル市における末端管理者「網格員」に着目して—	JIANG XINGYU・三好恵真子	202406	日本生活学会第 51 回研究発表大会	-

大学・研究所等の報告	学生企画による PBL 活動の実施報告：日本の持続可能な水産業の形成について考える	鈴木寛太郎・大江龍太郎・新城裕太・姜星羽(JIANG XINGYU)・HaRhin・李妍・松村悠子・山崎吾郎	202407	大阪大学 CO デザインセンター紀要『Co*Design NOTE』,5,1-25	○
------------	---	--	--------	---	---

指導教員	中井 宏	研究分野	安全行動学
------	------	------	-------

学生氏名	NGUYEN PHUONG ANH	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	患者からの感謝 vs 仲間からの感謝—どちらの感謝の方が、看護師のバーンアウトに影響を与えるのか—	Nguyen Phuong Anh・伊藤 篤希・中井 宏	202503	第 2 回医療安全心理・行動学会学術総会	○				

学生氏名	馬淵 龍	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	経験年数に基づいた診療放射線技師のインシデント報告事例に対する根本原因分析	馬淵 龍, 秋保亮太, 中井 宏	202412	日本放射線技術学会雑誌,80,12,1288-1295	○				
学会・研究会等発表	経験年数に基づいた診療放射線技師のインシデント報告事例に対する根本原因分析	馬淵 龍, 秋保亮太, 中井宏	202404	第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会	-				
学会・研究会等発表	質問紙調査から解く診療放射線技師における焦りの生起要因と業務への影響について	馬淵 龍	202411	京都府放射線技師会医療安全 Web セミナー (第 599 回研修会)	-				
学会・研究会等発表	診療放射線技師における焦りの生起要因と業務への影響	馬淵龍, 伊藤篤希, 中井宏	202411	第 19 回医療の質・安全学会学術集会	-				
学会・研究会等発表	(採択済) 診療放射線技師の焦り管理と対処力向上：グループワーク介入の効果検証	馬淵龍, 伊藤篤希, 中井宏	202502	令和 6 年度近畿地域診療放射線技師会学術大会	-				

学生氏名	米田 千聖	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	電車利用場面における社会的迷惑行為に関する研究	米田千聖・秋保亮太・中井宏	202411	関西心理学会 第 135 回大会	-				

学生氏名	松本 真菜子	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	通り慣れた道路におけるバス乗務員の記憶に関する研究 (1) —危ない場所ほど覚えているのか?—	中井宏・松本真菜子	202406	日本交通心理学会大会発表論文集,89,21-24	-				
学会・研究会等発表	通り慣れた道路におけるバス乗務員の記憶に関する研究 (2) —記憶と行動に関連性はあるのか?—	松本真菜子・中井宏	202406	日本交通心理学会大会発表論文集,89,25-28	-				
学会・研究会等発表	通り慣れた道路におけるバス乗務員の記憶に関する定性的調査 —記憶している場所と記憶していない場所では何が違うのか—	松本真菜子・中井宏	202411	関西心理学会第 135 回大会発表論文集,61-61	-				
学会・研究会等発表	通り慣れた道路におけるバス乗務員の記憶に関連する要因	松本真菜子・中井宏	202501	交通科学,55,3,9-10	-				

指導教員	鹿子木 康弘	研究分野	比較発達心理学
------	--------	------	---------

学生氏名	石川 萌子	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	悪性・良性妬みによって 6 歳児の妬み行動は生起するのか?	石川萌子・吉沢和・千々岩眸・鹿子木康弘	202501	発達心理学研究,36,1,印刷中	○				
学術論文	Does using multiple strategies enhance preschoolers' persistence in a challenging task?	Moeko Ishikawa, Yasuhiro Kanakogi	202501	Journal of Experimental Child Psychology,252,106170	○				
学会・研究会等発表	戦略の実演が就学前児の粘り強さに与える影響—思いついた戦略と教示された戦略の違いに注目して—	石川萌子・鹿子木康弘	202403	日本発達心理学会第 35 回大会	-				
学会・研究会等発表	グリットの萌芽に迫る—粘り強い子ってどんな子?—	石川 萌子	202407	行動学系若手セミナーシリーズ	-				

学会・研究会等発表	社会的ロボットが4-5歳児の粘り強さに与える影響	石川萌子・松村紗奈・Mahzoon Hamed・吉川雄一郎・鹿子木康弘	202408	日本赤ちゃん学会第24回学術集会	-
学会・研究会等発表	6歳児は悪性・良性妬みに基づいた妬み行動を示すのか	石川萌子・吉沢和・千々岩眸・鹿子木康弘	202409	日本心理学会第88回大会	-
国際会議 (procなし)	The effects of the social robot on persistence in 4-5-year-olds	Moeko Ishikawa, Sana Matsumura, Hamed Mahzoon, YuichiroYoshikawa, Yasuhiro Kanakogi	202501	The 15. annual BCCCD Conference	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞	石川萌子・吉沢和・千々岩眸・鹿子木康弘	202412	公益社団法人日本心理学会

学生氏名	戸田 梨鈴		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	幼児期におけるゆるしの理解の発達	戸田梨鈴, 戸田七鈴, 鹿子木康弘	202403	日本発達心理学会第35回大会	-	
学術論文	Understanding of the functions of forgiveness among preschoolers	Rizu Toda, Nazu Toda, Himoichi Hagihara, Yasuhiro Kanakogi	202411	Journal of Experimental Child Psychology,247	○	
学会・研究会等発表	幼児期におけるゆるしの違反者に対する効果的理解	戸田梨鈴, 戸田七鈴, 萩原広道, 鹿子木康弘	202408	日本赤ちゃん学会 第24回学術集会	-	
学会・研究会等発表	モバイルデバイス上の認知課題を用いたうつ病および脳疲労の検出	平井 啓, 武重百香, 大湾麻衣, 岡大樹, 戸田梨鈴	202409	日本心理学会第88回大会	-	
学会・研究会等発表	6歳児の違反行為に対する第三者罰とゆるし-違反者の謝罪と介入コストに注目して-	戸田梨鈴, 戸田七鈴, 萩原広道, 鹿子木康弘	202409	日本心理学会第88回大会	-	
学会・研究会等発表	幼児期におけるゆるしの理解の発達-ゆるしが被害者・違反者にもたらす効果に注目して-	戸田梨鈴, 戸田七鈴, 萩原広道, 鹿子木康弘	202411	関西心理学会第135回大会	-	
国際会議 (procなし)	Decoding Cultural Influences on Visual Object Categorization in Infants	Marlena Baldauf, Yasuhiro Kanakogi, Hiromichi Hagihara, Rizu Toda, Angelika Lingnau, Radoslaw Cichy, Moritz Köste	202501	15th annual BCCCD meeting	○	
国際会議 (procなし)	Understanding of the Effects of Forgiveness on Transgressors among Preschoolers	Rizu Toda, Nazu Toda, Hiromichi Hagihara, Yasuhiro Kanakogi	202501	15th annual BCCCD meeting	○	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	人間科学研究科賞	戸田梨鈴	202403	大阪大学大学院人間科学研究科
受賞	最優秀ポスター賞	戸田梨鈴, 戸田七鈴, 萩原広道, 鹿子木康弘	202408	日本赤ちゃん学会第24回学術集会
受賞	研究奨励賞	戸田梨鈴, 戸田七鈴, 萩原広道, 鹿子木康弘	202412	関西心理学会第135大会

学生氏名	坂口 桃彩		学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	就学前児における過剰な援助に対する第三者評価	坂口桃彩;萩原広道;鹿子木康弘	202408	日本赤ちゃん学会第24回学術集会	-	
学会・研究会等発表	過剰な援助に対する第三者評価課題の作成と予備的検討 -発達研究に向けて-	坂口桃彩;萩原広道;鹿子木康弘	202409	日本心理学会第88回大会	○	
学会・研究会等発表	特定保健指導に対するアドヒアランス向上に向けた対象者の認知と行動的特徴に関するセグメンテーション分類	平井 啓, 坂口桃彩, 伊吹紀乃, 渡邊拓人, 内野詠一郎, 吉田安里, 奥野恭史, 峰晴陽平	202411	健康心理学会第37回大会	-	
国際会議 (procなし)	Third party evaluation for over-helping in preschoolers	坂口桃彩;萩原広道;鹿子木康弘	202501	BCCCD2025, (Budapest)	○	

学生氏名	大西 実乃里		学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	対面監督者とオンライン監督者の視界の違いが就学前児の不正行為に及ぼす影響	大西実乃里・鹿子木康弘	202408	日本赤ちゃん学会第24回学術集会	-	

学会・研究会等発表	5歳児のオンライン不正行為に対する介入策の検討-自己知覚による不正行為の抑制に着目して-	大西実乃里・鹿子木康弘	202409	日本心理学会第88回大会	-
学会・研究会等発表	Understanding Online Cheating Behavior in 5-Year-Olds: The Impact of Proctoring Limitations	Minori Onishi & Yasuhiro Kanakogi	202501	BCCCD2025	○

指導教員	山本 倫生	研究分野	行動統計科学
------	-------	------	--------

学生氏名	瀬戸 ひろえ		学年	DC3	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	木に基づく予測モデルに対する類似度の公平性	瀬戸ひろえ・前川眞一・山本倫生	202405	日本計算機統計学会第38回大会	-
学会・研究会等発表	類似度の公平性に基づく予測モデルの比較検討	瀬戸ひろえ・前川眞一・山本倫生	202406	日本分類学会第43回大会	-
学会・研究会等発表	ノード内リサンプリングを用いた決定木の構築	前川眞一・瀬戸ひろえ・山下直人	202406	日本分類学会第43回大会	-
学会・研究会等発表	健康予測AIがモバイルヘルスアプリ利用者の健康意識と健康行動に与える影響の調査	瀬戸ひろえ・大山飛鳥	202410	第83回日本公衆衛生学会総会	○
学会・研究会等発表	リアルワールドデータを用いた生活習慣病の発症予測と改善シミュレーション機能の開発	大山飛鳥・瀬戸ひろえ	202410	第83回日本公衆衛生学会総会	○
学会・研究会等発表	AIに関するサイエンス・コミュニケーションの場としての哲学カフェの効果	瀬戸ひろえ・KANG KIWON・名取大雅・岡崎もも花・山崎吾郎	202502	情報処理学会 第107回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェロウシップ	瀬戸ひろえ	202404	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構
助成金	超域イノベーション博士課程プログラム 2024年度「グループ企画支援」	瀬戸ひろえ・KANG KIWON・名取大雅	202407	超域イノベーション博士課程プログラム
助成金	社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 「学生プロジェクト支援」	瀬戸ひろえ・名取大雅・KANG KIWON	202409	社会ソリューションイニシアティブ (SSI)

学生氏名	坪田 有司		学年	MC2	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	非対称なリンク関数に基づく因果媒介分析手法の提案	坪田有司, 山本倫生	202409	日本行動計量学会第52回大会	-
学会・研究会等発表	非対称なリンク関数に基づいた二値アウトカムに対する解析的な因果媒介分析の提案	坪田有司, 山本倫生	202410	日本計算機統計学会第38回シンポジウム	-
国際会議 (proc なし)	Causal mediation analysis for binary outcomes with asymmetric link functions	Tsubota, Y., Yamamoto, M.	202407	International Meetings of the Psychometric Society 2024 (IMPS2024)	○
国際会議 (proc なし)	An analytic approach to causal mediation analysis for binary outcomes with asymmetric binary models	Tsubota, Y., Yamamoto, M.	202412	The Interim Conference of the Asian Regional Section of the International Association for Statistical Computing (IASC-ARS Interim Conference 2024)	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	最優秀学生ポスター賞 (日本行動計量学会第52回大会)	坪田有司	202409	日本行動計量学会

学生氏名	橋本 捷矢		学年	MC2	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	DAG-NoCurlに基づく潜在因子間の因果構造推定法の開発	橋本捷矢・山本倫生	202410	日本計算機統計学会第38回シンポジウム	-
国際会議 (proc なし)	An efficient causal structure learning algorithm for latent factors	Katsuya Hashimoto, Michio Yamamoto	202412	THE IASC-ARS INTERIM CONFERENCE 2024	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	学生研究発表賞	橋本捷矢	202410	日本計算機統計学会

指導教員	中野 良彦	研究分野	生物人類学
------	-------	------	-------

学生氏名	藤原 峻宇	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	A three-dimensional kinematic analysis of bipedal walking in a white-handed gibbon (<i>Hylobates lar</i>) on a horizontal pole and flat surface		Takafumi Fujiwara, Kohta Ito, Tetsuya Shitara, Yoshihiko Nakano		202501	Primates,未,未,未-未	○		
学会・研究会等発表	ヒト・テナガザルのポール上二足歩行から推定する初期人類の樹上二足歩行		藤原峻宇、設楽哲弥、伊藤幸太、有竹環、中野良彦		202410	第78回日本人類学会	-		

指導教員	山田 一憲	研究分野	比較行動学
------	-------	------	-------

学生氏名	山本 誉	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Humming of a captive polar bear cub in the maternity den		Homare YAMAMOTO, Yusuke SANO, Kenji ABURAYA, Sakura ITO, Aoi MARUYAMA, Maki YAMAZAKI, Noriko KATSU and Kazunori YAMADA		202409	28th IBA (International Association for Bear Research and Management) Conference, (Edmonton, Canada)	○		

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	山本誉	202404	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構
助成金	国際学会参加助成制度	山本誉	202405	動物の行動と管理学会
助成金	大学院学生国際学会海外派遣支援金 2024年度春夏学期	山本誉	202406	大阪大学大学院人間科学研究科教育改革推進室

学生氏名	奈良崎 泉	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	飼育ハシビロコウの行動は季節によって変化するか？		奈良崎 泉・長嶋 敏博・勝 野吏子・山田 一憲		202411	SAGA26 (岐阜・愛知)	-		
国際会議 (proc なし)	Seasonal Changes in the Activity and Breeding Behavior of Captive Shoebills		Izumi Narasaki, Toshihiro Nagashima, Tetsuya Sato, Noriko Katsu, Kazunori Yamada		202407	Animal Behavior Society 2024 (Ontario, online)	-		
その他	神戸どうぶつ王国におけるハシビロコウの活動性と繁殖行動の季節変化		奈良崎泉		202410	ハシビロコウシンポジウム (兵庫)	-		

学生氏名	片山 洸彰	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Differences among methodologies used to assess personality structure in Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>)		Kosho Katayama, Kazunori Yamada, Masayuki Nakamichi		202406	Animal Behavior Society 2024	-		
学会・研究会等発表	「大胆さ」研究の野生動物管理への応用可能性：行動データとヒトの印象		片山 洸彰, 山田 一憲, 勝 野吏子		202411	第7回 東北野生動物管理研究交流会 in やまがた	-		

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	片山 洸彰	202404	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構
助成金	大学院学生国際学会海外派遣支援金	片山 洸彰	202406	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	根地嶋 勇人	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	地獄谷集団と勝山集団のニホンザルにおける授乳を巡る母子の対立の過程と結末	根地嶋勇人	202503	地獄谷・上高地合同会議	-	

学生氏名	梅津 明香	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	顔の上部から下部の魅力の予測, およびその逆は可能か	梅津明香・若杉歩実・竹原卓真	202411	第29回 日本顔学会大会 フォーラム顔学 2024	-	

2-2-2. 社会学・人間学系

社会学・人間学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	96 名	85 名	88.5 %	27 名	28.1 %	

指導教員	川端 亮	研究分野	経験社会学
------	------	------	-------

学生氏名	藤野 敦子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	現代日本における「夫の転勤」が妻の育児孤独感、希望子供数に与える影響 -4 分解法による因果媒介分析から	藤野 敦子	202408	2024 年日本フェミニスト経済学会大会	-
学会・研究会等発表	女子枠入試創設の意義—ジェンダー研究の視点から—	藤野 敦子	202410	日本機械学会関西支部第 25 回秋季技術交流フォーラム	-
大学・研究所等の報告	日本的雇用システムにおける転勤とは何か—ジェンダー・家族形成の視点から問う—	藤野 敦子	202412	研究プロジェクト運営支援の研究会 (京都産業大学大学院経済学研究科教授 小田秀典主催)	-
書評	新刊紹介 「フェミニスト経済学」 論評 1	藤野 敦子	202408	経済社会とジェンダー,95,91-96	-
その他	ジェンダー課題を解決する鍵: 「ジェンダー・アンコンシャスバイアス」とは	藤野 敦子	202404	滋賀県男女共同参画センター主催令和 6 年度 第 1 回 男女共同参画担当職員研修 (講演)	-
その他	アンコンシャスバイアスとは—ジェンダー課題を解決する鍵	藤野 敦子	202406	公益財団法人 滋賀県人権センター主催 2024 年度人権研修委員会研修 (講演)	-
その他	ジェンダーギャップの解消に向けて: アンコンシャスバイアスに気づく	藤野 敦子	202409	令和 6 年度 滋賀県 令和 6 年度男女共同参画推進委員等研修 (講演)	-
その他	無意識の偏見 (アンコンシャスバイアス) とは?—ジェンダー平等を考える鍵—	藤野 敦子	202410	2024 年 滋賀県竜王町人権啓発セミナー (講演)	-
その他	フェミニズムとは何?—フランスのフェミニズムの歴史に学ぶ—	藤野 敦子	202411	東京都立大学 オープンユニバーシティ オンラインスペシャル (講演)	-

指導教員	CROYDON Silvia	研究分野	現代社会と社会理論
------	----------------	------	-----------

学生氏名	AICHHOLZER STEFAN	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	国際結婚における接触と機会構造の影響 —日本の視点から	Stefan Aichholzer	202503	第 78 回数理社会学会大会 (JAMS78)	-
その他	Doing Quantitative Research as a Qualitative Researcher”, Introduction to Research in Social Sciences course	Stefan Aichholzer	202406	Introduction to Research in Social Sciences, Ritsumeikan University	-

指導教員	吉川 徹	研究分野	経験社会学
------	------	------	-------

学生氏名	LIU SILIANG	学年	DC3
------	-------------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和 6 年度科学研究費助成事業 特別研究員奨励費	LIU SILIANG	202404	日本学術振興会

学生氏名	竹内 裕二	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	住民主体の観光まちづくりによる問題解決の可能性: -日本とウズベキスタンの住民自治組織の事例比較からの考察-	竹内裕二	202408	日本近代学研究,85,269-292,韓国日本近代学会	○
学術論文	地方公共団体の人材育成基本方針に関する予備的考察	小村由紀・竹内裕二	202502	日本近代学研究,87,1-20,韓国日本近代学会	○
学術論文	日本の海上物流の現状と港湾政策に関する考察 -日本と韓国の海上物流に着目して-	竹内裕二	202503	Journal of Intelligence Science in Local Research,1,2,1-20,下関市立大学	○

学会・研究会等発表	関門地域観光客のレポートと回遊性に関する基礎的考察	竹内裕二	202405	第48回韓国日本近代学会国際学術大会,韓国日本近代学会	-
学会・研究会等発表	関門港の海上物流に関する考察	内田研一・三明薫・竹内裕二	202405	第48回韓国日本近代学会国際学術大会,韓国日本近代学会	-
学会・研究会等発表	成り立ちが異なる住民自治組織と住民主体のまちづくりの関係について：日本と韓国、ウズベキスタンの住民自治組織の事例比較からの考察-	竹内裕二	202410	第49回韓国日本近代学会国際学術大会,韓国日本近代学会	-
学会・研究会等発表	関門港の海上物流に関する考察 その2	内田研一・三明薫・竹内裕二	202410	第49回韓国日本近代学会国際学術大会,韓国日本近代学会	-
学会・研究会等発表	観光エリア拡大を行う上での問題点に関する既往研究からの考察 その1	竹内裕二	202412	2024年度 中四国商経学会全国大会,中四国商経学会	-
国際会議 (procあり)	The Importance and Future of Neighborhood Associations in Civic Education: Case Studies from Japan, South Korea and Uzbekistan	Yuji Takeuchi	202412	Asian Low and Society Association 2024 Annual Meeting,Asian Low and Society Association	-

指導教員	五十嵐 彰	研究分野	経験社会学
------	-------	------	-------

学生氏名	YEUNG Wai Keung Jerf	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Emotional Health of Immigrant Adolescents by a Cross-Lagged Panel Network Analysis: Self-Esteem and Depression	Tiange Sui, & Jerf W. K. Yeung	202412	Healthcare,12,24,Article Number: 2563- https://www.mdpi.com/journal/healthcare	○				
学術論文	Intergenerational Transaction of Emotional Health in Collective Family Context: Family Functioning, Parental and Children's Gratitude, and Their Depression	Jerf W. K. Yeung	202501	Healthcare,13,3,Article Number: 147- https://doi.org/10.3390/healthcare13020147	○				
専門書	In Roberta V. Nata (Ed.), Progress in Education (Volume 84)	Tiange Siu, Jerf W. K. Yeung, Hui-Fang Chen, Andrew Y. T. Low	202409	Nova Science Publishers Chapter 6: The Moderating Role of Present and Future Hope in the Relationship Between Parental Attachment, School Attachment and Risky Behaviors in Adolescent Girls (Pages 135-154)					
専門書	In Roberta V. Nata (Ed.), Progress in Education (Volume 85)	Jerf W. K. Yeung, & Tiange Siu	202411	Nova Science Publishers Chapter 1: Discerning At-Risk Female Youths from Their General Peers and Support for Their Health Development (Pages 1-35)					
専門書	In Roberta V. Nata (Ed.), Progress in Education (Volume 85)	Tiange Sui, & Jerf W. K. Yeung	202411	Nova Science Publishers Chapter 3: Mapping the Mindscape: A Correlation-Based Network Analysis of Psychological Constructs in Adolescence Development (Pages 65-92)					

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	Contract Research (Project Number: 9231561)	Jerf W. K. Yeung	202406	Plan International

指導教員	山中 浩司	研究分野	文化社会学
------	-------	------	-------

学生氏名	杉江 美子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「特別な教育的支援」の省察的実践 一個別の配慮・支援の在り方を考えるー	杉江 美子, 中辻 日菜	202408	帝塚山学院大学教職実践研究センター年報,9,1-8	-				

指導教員	辻 大介	研究分野	文化社会学
------	------	------	-------

学生氏名	秋丸 竜広	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	インターネット・サービスにおける現代的な ゲイ・バイセクシュアル男性の親密性	秋丸 竜広		202411	第 97 回日本社会学会大会	-			
書評	Anthony Elliott, Algorithmic Intimacy: The Digital Revolution in Personal Relationship, Polity, 2023.	秋丸 竜広		202503	年報人間科学,46,33-37	-			

指導教員	森田 邦久	研究分野	科学哲学・分析哲学
------	-------	------	-----------

学生氏名	池田 健人	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ポパーの相互作用主義における存在論：心の主観性と実体性を超越	池田健人		202412	批判的合理主義研究,15,2,51-61	○			
学術論文	機能主義とポパーの相互作用主義：現代の心の哲学におけるポパー哲学の布置をめぐって	池田健人		202503	年報人間科学,46,17-27	○			

学生氏名	KANG KIWON	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「科学への信頼」とは何か?	KANG KIWON		202404	新進研究者 Research Notes,7,日本科学哲学学会	○			
学会・研究会等発表	HPV ワクチンの男性接種を巡る諸外国の国会議事録フレーム分析	KANG KIWON		202409	スチューデントワークショップ,社会言語科学会	-			
学会・研究会等発表	ブラックボックス化する科学における信頼の確保	KANG KIWON		202411	第 57 回(2024 年度)大会 研究発表,日本科学哲学学会	-			
学会・研究会等発表	AI に関するサイエンス・コミュニケーションの場としての哲学カフェの効果	瀬戸ひろえ, KANG KIWON, 名取大雅, 岡崎もも花, 山崎吾郎		202502	第 107 回 EIP 研究発表会, 情報処理学会	-			
大学・研究所等の報告	より良い科学コミュニケーションの確立を目指して	KANG KIWON, 葦刈佑季, 清水 皓己, 袴田彩仁		202411	博士の 10 年後を見据えた未来共創に向けた提言,大学院教育改革フォーラム 2024	-			

学生氏名	中塚 海渡	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	量子論における因果律	中塚海渡・木村元(芝浦工業大学)		202409	科学基礎論夏のセミナー2024	-			

学生氏名	岸 哲生	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	集団信念の正当化：「知りえること」との関係から考える	岸哲生		202412	日本科学哲学学会第 57 回 (2024 年) 大会	-			

学生氏名	山下 俊介	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	図を重ね合わせる技法の記号論的分析：Goodman 哲学の応用	山下 俊介		202412	日本科学哲学学会 第 57 回(2024 年度)大会	-			

指導教員	村上 靖彦	研究分野	哲学と質的研究
------	-------	------	---------

学生氏名	増山 祥子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	『米山式小児はりを用いた子どもケア～世界共通?!『寝る子は育つ』のために～』	増山祥子		202411	日本小児はり学会学術大会～小児はりの臨床～	-			
学会・研究会等発表	がん緩和ケアにおける鍼灸の役割と留意点～緩和ケアチームとしての実践～	増山祥子		202502	大阪府鍼灸マッサージ師会生涯研修会	-			

国際会議 (proc なし)	Acupuncture for patients with cancer in a palliative care team in Japan: A prospective case series study.	Shoko Masuyama, et al.	202408	Journal of Clinical Oncology,42,23,193,ASCO Breakthrough: A global Summit for Oncology Innovators	○
国際会議 (proc なし)	Japanese clinical practice guidelines including recommendations for acupuncture: Update 2023	Hitoshi Yamashita, Yuse Okawa, Shoko Masuyama	202409	ICMART2024	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和2年度科学研究費助成事業 基盤 C	増山祥子	(選択)	日本学術振興会

学生氏名	眞田 航	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	西田幾多郎の後期哲学におけるメタモルフォーゼの理論	眞田航	202404	哲学,75,185-202,日本哲学会	○
その他	Modern Japanese Philosophy and Colonialism: Rethinking Nishida Kitarō's Philosophy of the Other	Wataru Sanada	202408	ECOSYSTEM OF HISTORY, MEMORY AND RECONCILIATION SUMMER PROGRAM 2024 (Jena Center for Reconciliation Studies でのサマースクールにおける発表)	-

学生氏名	永井 智子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	地域包括支援センターの活動における倫理的課題と倫理的支援環境の現状	小野 若菜子, 森田 誠子, 永井 智子, 小西 恵美子	202405	日本看護理論学会誌 (早期公開)	○
学会・研究会等発表	第2子出産における母親の育児状況の変化と困難: 産後1年間に焦点をあてて	永井智子	202409	第29回聖路加看護学会学術集会プログラム	-
学会・研究会等発表	転居がおよぼす影響に関する文献検討: 親子保健に着目して	永井智子	202501	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会	-
学会・研究会等発表	集まろう、つながろう、話そう 今日から活かせる 教育実践のあれこれ ~ラダーI 教員と考える学生とともに育ちあう教育~	渡邊千秋, 齊藤瑛梨, 田村晴香, 一色喜保, 窪田志穂, 永井智子, 戸渡洋子, 武井 勇介, 川口恭子山崎真帆, 中島 富志子榎本晃子	202501	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会 (ワークショップ)	-

学生氏名	十倉 絵美	学年	DC3
------	-------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	十倉絵美	202404	大阪大学

学生氏名	大野 美子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	精神医療を自分の声で語るには~キャロル・ギリガンの「声の方法論」を実践する	大野美子	202409	第2回オートエスノグラフィと詩的探求フォーラム	○
学会・研究会等発表	じゃがじゃがプロジェクト: メンタルヘルスケアに携わる人のサポートグループ	大野美子・北畑雄大	202412	アートミーツケア学会 2024 年度大会	○
学会・研究会等発表	言葉、声、文体を探す ~精神医療をめぐる経験を記述するために	大野美子	202501	第15回臨床哲学フォーラム	-
学会・研究会等発表	「オートエスノグラフィと創作、文体」「事実と真実」(ビギナーズセッション)	大野美子	202502	International Association of Autoethnography and Narrative Inquiry 2025	○
解説・総説	トラウマ&バイオレンス・インフォームドケアの視点~支援の言葉や文化をケアフルなものにするために~	大野美子・片山宗紀	202408	「こころ」のための専門メディア金子書房	-
書評	書評『精神医療の未来を見据えて』	大野美子	202407	『精神医療』,189,102-105	-
その他	人生の最初の日	大野美子	202501	『樹林』大阪文学学校・葦書房,709,78-81,エッセイ部門	○
その他	「売店の話」: 精神医療を「わたしのことば」で綴る	大野美子	202503	アートミーツケア学会オンラインジャーナル第16号(2025年3月)発行予定,エッセイ部門	○

学生氏名	田中 佑樹	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Postmedia art as intersections in Guattari and TV WAR	Yuuki Tanaka	202407	Deleuze Guattari Conference 2024	○
学会・研究会等発表	価値の地図作成法	田中佑樹	202409	カルチュラル・タイフーン	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大学院学生国際学会海外派遣支援金	田中佑樹	202406	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	西村 友梨	学年	DC1
------	-------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	次世代挑戦的研究社育成プロジェクト	西村友梨	202407	大阪大学

学生氏名	赤木 優希	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	マイクロアグレッションにおける前反省的な敵意について：サルトルの現象学的他者論を手がかりに	赤木優希	202503	『哲学の探究』第52号 哲学若手研究者フォーラム,52,印刷中,哲学若手研究者フォーラム	○
学術論文	サルトルにおける愛の概念について：『存在と無』における現象学的他者論を中心に	赤木優希	202503	ジャーナル『未来共創』,12,印刷中,大阪大学大学院人間科学研究科付属未来共創センター	○
学会・研究会等発表	マイクロアグレッションにおける前意識的な敵意について	赤木優希	202407	哲学若手研究者フォーラム	-
書評	Lauren Freeman and Jeanine Weekes Schroer (eds), Microaggressions and Philosophy, Routledge, 2022	赤木優希	202503	年報人間科学,46,29-32,大阪大学大学院人間科学研究科社会学・人間学・人類学研究室	○

指導教員	野尻 英一	研究分野	比較文明学
------	-------	------	-------

学生氏名	客本 敦成	学年	DC3
------	-------	----	-----

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大阪大学 学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト 共同研究活動	客本敦成、田中佑樹、眞田航	202407	大阪大学 学際大学院機構

学生氏名	CAO SIMIN	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	日中 BL 作品から見る国家イデオロギーとその超克	CAO SIMIN	202409	カルチュラル・タイフーン神戸 2024	-

指導教員	白川 千尋	研究分野	人類学
------	-------	------	-----

学生氏名	吉田 佳右	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	高齢者の「持てる力」をめぐる実践としてのケア -日本のホームホスピスを事例に-	吉田 佳右	202405	第50回日本保健医療社会学会大会	○

学生氏名	森本 早紀	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	「音を聞く」という実践	森本早紀	202406	日本文化人類学会第58回研究大会	○
学会・研究会等発表	看護師が病棟で聞き取る音と実践の関係 -病棟看護師の語りの分析から-	森本早紀	202408	日本看護研究学会第50回学術集会	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	国際研究交流プロジェクト支援金	森本早紀	202407	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	三橋 涼子	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	月経と月経をめぐる経験を通して見る社会 高齢女性の語りから	三橋 涼子, 伊藤 美穂, 尾崎 晶代, 倪 婷婷,	202403	未来共創,11,101-145	-				

指導教員	森田 敦郎	研究分野	科学技術と文化
------	-------	------	---------

学生氏名	DONAYRE MIRANDA FABIO EMMANUEL	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Caseta Refractions: Coordinating Natures in Conservation Practice	Fabio Miranda	202406	Pulse: The Journal of Science and Culture,10,1-20	○				
学術論文	Presentación — Estudios de infraestructura en y desde América Latina	Fabio Miranda, Marcos Lopez	202412	Anthropologic,42,53,71-81	○				
書評	Taylor, Lewis. Gamonales y bandoleros: violencia social y política en Hualgayoc- Cajamarca, 1900-1930. Lima: Lluvia Editores, 2023, 293 pp.	Fabio Miranda	202412	Historia y Cultura,35	-				

学生氏名	韓 智仁	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	研究データ管理の実践を促進する人材育成環 境の構築に向けて	甲斐 尚人, 神崎 隼人, 白井 詩沙香, 古川 雅 子, 長岡 千香子, 松浦 かんな, 古谷 浩志, 吉 賀 夏子, 菅原 裕輝, 田 儀 勇樹 ...	202412	情報の科学と技術,74,12,538-544	-				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	松下幸之助記念志財団 研究助成	韓智仁	202410	松下幸之助記念志財団

2-2-3. 教育学系

教育学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	107 名	100 名	93.5 %	35 名	32.7 %	

指導教員	岡部 美香	研究分野	教育人間学
------	-------	------	-------

学生氏名	高木 万由葉	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	An interpretation of Zeami's thought in Pedagogy		高木万由葉	202408	Asian Link of Philosophy pf Education	-			
大学・研究所等の報告	「これからの「戦後」への教育学」－さまざまな実践と理論研究の観点から－		岡部 美香・黒田 恭史 平田 仁胤・古波 蔵 香 高木万由葉・高木琳太郎	202412	教育学研究,91,4,580-582,日本教育学会	-			
大学・研究所等の報告	「これからの「戦後」への教育学」－さまざまな実践と理論研究の観点から－		岡部 美香・黒田 恭史 平田 仁胤・古波 蔵 香 高木万由葉・高木琳太郎	202503	大阪大学教育学年報,30,3-14	-			

学生氏名	高木 琳太郎	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	An Examination on the concept of "Nativity/Beginning" in Arendt Focusing on the Relationship between Private and Public		高木琳太郎	202408	Asian Link of Philosophy pf Education	-			
大学・研究所等の報告	「これからの「戦後」への教育学」－さまざまな実践と理論研究の観点から－		岡部美香・黒田恭史・平田仁胤・古波蔵香・高木万由葉・高木琳太郎	202412	教育学研究,91,4,580-582,日本教育学会	-			
大学・研究所等の報告	「これからの「戦後」への教育学」－さまざまな実践と理論研究の観点から－		岡部美香・黒田恭史・平田仁胤・古波蔵香・高木万由葉・高木琳太郎	202503	大阪大学教育学年報,30,3-14	-			

指導教員	藤川 信夫	研究分野	人間変容論
------	-------	------	-------

学生氏名	奥村 晴奈	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	マイクロアグレッションの分野横断的考察：理論研究と事例研究の観点から		客本敦成、奥村晴奈、岸田月穂、土屋友衣子	202409	カルチュラル・タイフーン 2024	-			
その他	どうすれば多様な人々が共生できるのか？：「集団や社会との関わり」について		奥村晴奈	202404	國崎大恩、キム・マワー編、藤川信夫監修『実践につながる道徳教育の理論』	-			

学生氏名	片桐 由美子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	公共図書館における暴力とその対応に関する国際比較		片桐由美子	202501	2024 年度国際図書館情報学会日本支部 (I-LISS Japan) 研究大会	-			

指導教員	西森 年寿	研究分野	教育工学
------	-------	------	------

学生氏名	喜田 雅彦	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Evaluation of Website Information for Splenectomy Patients in Japan		Masahiko Kita	202412	PEC Innovation,6	○			
学会・研究会等発表	脾臓摘出術を受けた患者向け教育資料の作成と評価		喜田 雅彦, 森田 諒, 白野 倫徳	202503	日本教育工学会 2025 年春季全国大会	-			

学生氏名	高津 遥	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	他者との協働による創造的なアイデアの生成 —大学生を対象としたグループ (3人組) と個人の比較実験—	高津遥・村上正行・後藤 崇志	202404	教育システム情報学会誌,41,2,107-109	○				
学会・研究会等発表	デザイン思考の学習経験が創造的な資質に与える影響	高津遥・高田佳奈・大谷洋介	202409	日本教育工学会 2024 年秋季全国大会	-				
学会・研究会等発表	理科の自由研究における課題設定と計画立案の支援-レリバンスと理科の考え方に着目した実践	後藤崇志・高津遥・西森年寿	202409	日本教育心理学会第 66 回総会	-				

学生氏名	根岸 千悠	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	授業・校務場面における生成 AI 活用に関する教職課程での授業実践の有用性と課題	根岸 千悠	202412	日本教育工学会論文誌 ,48,4,739-748	○				
学会・研究会等発表	高等教育におけるシラバスチェックのための生成 AI の活用	根岸千悠, 金賢眞, 田尾俊輔, 梶原久梨子, 大山牧子, 浦田悠, 村上正行, 佐藤浩章	202409	日本教育工学会 2024 年秋季全国大会	-				
学会・研究会等発表	教養科目における教材作成活動の有用性と課題	根岸 千悠	202503	日本教育工学会 2025 年秋季全国大会	-				

学生氏名	PARK HYUNSUN	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	高大一貫教育による薬剤師育成 II —大谷学園「薬剤師育成プログラム」の試み—	朴 炫宣・渡部 勇	202408	第 9 回日本薬学教育学会大会	-				

指導教員	後藤 崇志	研究分野	教育学
------	-------	------	-----

学生氏名	倉島 七海	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ミドル教師のチームにおけるリーダーシップ行動の分類	倉島七海・真鍋誠司・山岡徹・佐々木秀綱・結城菜摘・町支大祐・脇本健弘	202409	日本教育工学会 2024 年秋季全国大会	-				
学会・研究会等発表	生徒-教師間の関係性知覚への教師の自律性支援の影響 PISA2022 の二次分析	倉島 七海・後藤 崇志	202503	日本教育工学会 2025 年春季全国大会	-				

指導教員	野坂 祐子	研究分野	教育心理学
------	-------	------	-------

学生氏名	吉村 拓美	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童福祉司へのピアグループ・スーパービジョンの実践—スキニーCAPを応用したPGSVの検討—	吉村拓美	202409	「家族療法研究」,第 41 巻,第 2 号,181-186	○				
学会・研究会等発表	こころが繋ぐ子ども支援の輪—多機関協働を支える“アンビット”の実践—	ピーターフェューグル・中西桃子・向井理菜・中沼早苗・吉村拓美・今井たよか	202408	第 1 回 AMBIT シンポジウム—関西—	-				
学会・研究会等発表	支援者はいかに精神的健康を回復しているか—ピアケアの場としての研究活動「僕らの家族支援研究会(BKS)」のご紹介—	吉村拓美・園博伸・乾信一郎・坂口伊都	202411	対人援助学会第 16 回年度大会の理事会企画シンポジウム	-				
学会・研究会等発表	児童相談所スーパーバイザーの資質向上におけるピアサポートグループの可能性	足利安武・乾信一郎・坪居潤・橋本純・吉村拓美・増沢高	202411	日本子ども虐待防止学会第 30 回学術集会かがわ大会	○				
学会・研究会等発表	市における心理職の役割に関する実態調査について—令和 5 年度子どもの虹情報研修センター研究より—	八木安理子・櫻井良子・武田 由・中沼早苗・橋本めぐみ・三宅妙子・吉田恵子・吉村拓美・渡邊直	202411	日本子ども虐待防止学会第 30 回学術集会かがわ大会	○				

学生氏名	BOTTAZZO MARTINA	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (proc なし)	“Crossing Borders out of a High-Demand Religious Group”. Journal of Analytical Psychology, Spring Conference, England (Presentation)	Bottazzo, M.	202404		○	
国際会議 (proc なし)	“Traumatization as Tool of Cultural Propagation and Group Survival in Highly Controlling, Isolated Communities”. International Council of Psychologists, Czech Republic (Presentation, abstract accepted).	Bottazzo, M.	202407		-	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	SPRING 採用		202404	SPRINH

学生氏名	安藤 麻紀	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	「自主シンポジウム 055 加害者に被害者の声を届ける難しさー被害者心情聴取・伝達制度を契機にー」	下郷大輔・安藤麻紀・野口千里・門間伸・中川嘉子	202410	第 43 回日本心理臨床学会大会 於 W e b 大会	-	
学会・研究会 等発表	シンポジウム 1 「子どものグリーフへの支援」	倉西宏・井上実穂・峰島里奈・安藤麻紀	202503	第 7 回日本グリーフ&ビリーブメント学会学術大会	-	

学生氏名	宮野原 勇斗	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会 等発表	地域の児童発達支援・放課後等デイサービスと連携した高等学校におけるソーシャルスキルトレーニングの効果の検討ーソーシャルスキル及び精神的健康への影響ー	宮野原勇斗	202409	日本特殊教育学会第 62 回大会	-	

学生氏名	松崎 美奈子	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	日本における心理的感受性概念とその測定方法についてのレビュー	松崎美奈子	202403	大阪大学教育学年報,29,29-38	-	
学会・研究会 等発表	HSP の援助要請意図とその促進要因についての検討	松崎美奈子・井奥智大・綿村英一郎	(選択)	日本パーソナリティ心理学会第 33 回大会	-	

指導教員	野村 晴夫	研究分野	臨床心理学
------	-------	------	-------

学生氏名	志水 佑后	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
その他	死と向き合う心理臨床	祖父江典人	202411	『自死案件を体験した学校の動揺と立ち直り』 志水佑后 第 6 章を執筆,81-93	-	

指導教員	管生 聖子	研究分野	臨床心理学
------	-------	------	-------

学生氏名	崎田 純	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	適応か個性化かー一表現を用いた遊びを通じてー	崎田純	202412	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要,30	-	
学会・研究会 等発表	「語り聞かせ」に関する臨床心理学的考察ーTEA と M-GTA を用いた質的分析ー	崎田純	202408	学術変革領域会議 (A) 「生涯学の創出ー超高齢化社会における発達・加齢観の刷新」 2024 年度第 1 回領域会議	-	

学生氏名	佐々木 由佳	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	妊娠期に異常がわかり医療的ケアを受ける“わが子”を育む経験ーわが子の“わからなさ”との向き合いのなかでー	佐々木 由佳	202408	日本心理臨床学会第44回大会	○				
学会・研究会等発表	妊娠期に異常がわかり医療的ケアが必要となった子どもを育む父親の経験ーわが子の時の流れと共に生きるー	佐々木 由佳	202408	臨床実践の現象学会第8回大会	○				
学会・研究会等発表	医療的ケアが必要なわが子を妊娠期から育む母親の経験ーわが子との身体のまじわりの意味ー	佐々木 由佳	202411	日本質的心理学会第21回大会	○				
大学・研究所等の報告	社会やアートを希求しつつ畏怖を抱き続ける男性との面接過程	佐々木 由佳	202412	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要,30,48-56	-				

学生氏名	嶋 紋華	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	母親のレジリエンスと育児不適応との関連についての研究	嶋紋華、管生聖子、遠藤雅之	202404	母性衛生,65,1,74-80	○				

指導教員	木村 涼子	研究分野	教育社会学
------	-------	------	-------

学生氏名	近藤 凜太郎	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	国際協力 NGO のウェブ広告にみるジェンダー表象：ポストフェミニズムと結託する植民地主義	近藤凜太郎	202407	ジェンダー研究：お茶の水女子大学ジェンダー研究所年報,27,59-73	○				
学術論文	反資本主義フェミニズムの連帯とジェンダー表象：国際開発と「第三世界」女性をめぐるメディア研究の可能性	近藤凜太郎	202503	大阪大学教育学年報,30,25-36	-				
学会・研究会等発表	男性研究者はいかにしてジェンダー／フェミニズム研究の主体となるのか	藤田真文・竹田恵子・近藤凜太郎	202406	日本メディア学会 2024 年春季大会	-				

学生氏名	三宅 大二郎	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	非シスジェンダーのアロマンティック／アセクシュアル・スペクトラムにおけるアイデンティティの形成過程	三宅大二郎	202403	GID(性同一障害)学会 第25回研究大会・総会	-				
その他	アセクシュアルー日本における定義とその変遷ー	三宅大二郎	202410	ジェンダー史学会『ジェンダー史学』コラムを執筆,20,35-40	-				
その他	アロマンティックやアセクシュアルから考える「恋愛」	三宅大二郎	202410	『恋愛社会学ー多様化する親密な関係に接近するー』高橋幸・永田夏来編コラムを執筆,173-175	-				
その他	アロマンティックやアセクシュアルの視点から考える学校	三宅大二郎	202502	『教育』教育科学研究会編 特集記事を執筆,950,40-46	-				
一般書	いちばんやさしいアロマンティックやアセクシュアルのこと	三宅大二郎・今徳はる香・神林麻衣・中村健	202404	明石書店 第1部第2章コラム「相談窓口が少ない？」 第3章コラム「Aro/Aceのシンボル」 第4章「アセクシュアルの病理化」 第2部第2章「関連する調査」	-				

指導教員	荒牧 草平	研究分野	教育社会学
------	-------	------	-------

学生氏名	佐伯 厘咲	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童生徒におけるスクリーニングを活用した課題予防の可能性	山野 則子・駒田 安紀・橋本 鷹和・佐伯厘咲・黄 健育	202502	社会問題研究,74	-				
学会・研究会等発表	経済的困難さを抱える子どもたちが示す兆候ー自治体 X のパネルデータを用いた分析ー	佐伯 厘咲・山野 則子・橋本 鷹和	202406	日本子ども家庭福祉学会	-				
学会・研究会等発表	進路に関する親子間のコミュニケーションが高校生の進路選択に与える影響	佐伯 厘咲	202409	日本教育社会学会	-				

学生氏名	岸田 玄太	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	障害のあるきょうだいを持つ者 (ISD) の進路選択に関する日本国内の先行研究の文献レビュー「個人モデル」から「脱個人モデル」へ	岸田 玄太	202503	大阪大学教育学年報,30,15-23	-

指導教員	園山 大祐	研究分野	教育制度学
------	-------	------	-------

学生氏名	田邊 匠	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ニュージーランドにおける教員の労働法制に関する史的研究―「明日の学校改革」後の教員組合運動に着目して―	田邊匠	202412	オセアニア教育学会第 28 回大会	-

学生氏名	山崎 洋介	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	教員の長時間過密労働は労働時間管理だけで解決するのか?―教職の専門性と関わって―	山崎洋介	202403	『人間と教育』,121,36-43	-
学術論文	公立小中学校における非正規教職員の現状と課題―量的動向の特徴からさぐる解決の方向性	山崎洋介	202408	『日本の科学者』,59,8,23-27	-
学術論文	義務標準法『乗ずる数』改善でせんせいふやそう	山崎洋介	202410	『クレスコ』,283,20-23	-

学生氏名	中丸 和	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	災害時に学齢期の子どもとその家庭が直面する困難はいかなるものか―豪雨災害直後の被災地域の子どもの取り巻く環境に着目して―	中丸和・伊藤駿	202410	自然災害科学,43,特別,61-72,日本災害自然学会	○
学術論文	災害時の教員加配活用施策が教員の「傷つき」に与えた影響―原子力災害下における専門家としての教員の葛藤と受苦に着目して―	中丸和	202503	教育学研究,92,1,(採録決定済)	○
学会・研究会等発表	令和 6 年能登半島地震における子どもを取り巻く環境への影響とその対応はいかなるものだったのか?	中丸和	202407	日本子ども支援学会 日本子ども支援学会ワークショップ 2024 「被災地での子ども支援」	-
学会・研究会等発表	令和 6 年能登半島地震への文科省及び子ども家庭庁の対応からみる災害時の学校・子ども支援に関する制度・施策の課題	中丸和	202408	日本教育学会第 83 回大会ラウンドテーブル	-
学会・研究会等発表	災害時の子ども支援はいかに実現しうるのか―教育 NPO の実践における地域・教育行政・子ども行政との連携手法に着目して―	中丸和・伊藤駿	202408	日本教育学会第 83 回大会	-
学会・研究会等発表	災害時に学齢期の子どもとその家庭が直面する困難はいかなるものか―豪雨災害直後の被災地域の子どもの取り巻く環境に着目して―	中丸和・伊藤駿	202409	日本自然災害学会 2024 年度学術講演会 査読付きセッション	○
その他	第 1 章 まず、日本の子どもたちはどんな学校で過ごし、どんな進路を辿るのか?	中丸和	202412	『海外の教育のしくみをのぞいてみよう―日本、ブラジル、スウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス』園山大祐編 第 1 章を執筆,15-54	-
その他	座談会 日本を含む 8 か国の学校事情について見比べてみよう	園山大祐、中丸和、二井紀美子、林寛平、植田みどり、濱谷佳奈、シム チュン・キャット、辻野けんま、高橋哲	202412	『海外の教育のしくみをのぞいてみよう―日本、ブラジル、スウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス』園山大祐編 座談会を執筆,226-246	-
一般書	災害時に子どもを支える	伊藤駿・中丸和	202503	岩波ブックレット 第 1 章/第 2 章	-

指導教員	北山 夕華	研究分野	生涯教育学
------	-------	------	-------

学生氏名	DAO NGOC MY LINH	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	From the migrant children's manners to the school engagement: in the context of tokubetsu katsudō participation		Dao Ngoc My Linh	202410	シティズンシップ教育研究大会 2024	-			
学会・研究会等発表	Non-academic activities and the school engagement of migrant children in Japanese school		Dao Ngoc My Linh	202501	Policy and Practice in Japan's Education	-			
学会・研究会等発表	I like school lunchtimes and fieldtrips: Migrant Children's Experiences of Non Academic Activities in Japanese Schools		Dao Ngoc My Linh	202503	The International Interdisciplinary Japan Studies Workshop 2025	-			

学生氏名	岸本 直子	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	高等学校「探究ゼミ」における GCED 実践～フィリピンのコーヒー農園を題材として～		岸本直子	202406	日本国際理解教育学会第 33 回研究大会	-			

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	松下幸之助記念志財団研究助成	岸本直子	202409	松下幸之助記念志財団

学生氏名	宮内 裕大	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	高校生の探究学習を支えるユースワーカーの専門性についての研究		宮内裕大	202410	シティズンシップ教育研究大会	-			

指導教員	高田 一宏	研究分野	教育文化学
------	-------	------	-------

学生氏名	水野 聖良	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ユースセンターに通うことをめぐる意味づけの変容 : 「常連」の高校生の経験に着目して		水野聖良	202406	子ども社会研究,30,111-130,日本子ども社会学会	○			
学術論文	「Space」と「Bridge」の形成を目指した関係性構築 : ユースセンターで実践される工夫としての趣味嗜好の活用		水野聖良	202412	社会教育学研究,60,2,29-42,日本社会教育学会	○			
学会・研究会等発表	ユースセンターにおける仲間集団との関わりが及ぼす作用		水野聖良	202409	日本教育社会学会	-			

学生氏名	高野 結衣	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	「教師は学校防犯をどのように語るのか」		高野結衣	202409	教育社会学会第 76 回大会	-			

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	日本安全教育学会研究助成	高野結衣	202412	日本安全教育学会

学生氏名	桑山 碧実	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「寄せ場」に見る子育て・子育て—横浜・寿地区における実践の歴史的展開を事例として—		桑山碧実	202406	教育文化学年報,19,11-20	-			
学術論文	インナーシティにおける子育て資源の共有と活用—横浜・寿地区を生きる母親たちの語りから—		桑山碧実	202410	家族社会学研究,36,2,126-138	○			
学術論文	「ドヤ街」で育ち、育てるといふこと—横浜・寿地区出身の女性の語り		桑山碧実	202410	日本オーラルヒストリー研究,20,279-292	-			

学会・研究会等発表	高校非進学・中退経験をもつ母親における進学期待の形成	桑山碧実	202409	日本教育社会学会	-
国際会議 (proc なし)	Overcoming Inequalities: The Circulation of Parenting Resources among Inner-City Families in Japan	Aomi Kuwayama	202408	American Psychological Association Convention 2024, Division 27 Society for Community Research and Action	○

学生氏名	岡本 工介		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	「高槻市における官民連携による包摂型地域づくりに対応した先駆的実践」		岡本 工介	202406	第38回日本地域福祉学会 東京大会 日本地域福祉学会第21回「地域福祉優秀実践賞」受賞 実践報告	-
学会・研究会等発表	休眠預金等活用事業を活用した組織や活動の発展戦略に関する一考察		岡本 工介	202406	第38回日本地域福祉学会 東京大会	-
その他	『子どもから高齢者までの切れ目のない支援の創出のためのアクションリサーチ:大阪府高槻市富田地区における取組みから』		岡本 工介	202408	関西大学人権問題研究室紀要,88,77-102	-
一般書	『ひとりぼっちのいない町をつくる-貧困・教育格差に取り組む大阪・高槻富田の実践に学ぶ-』		岡本 工介	202404	明石書店	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	岡本 工介	202407	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	中西 美裕		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	校内居場所カフェに対する担任教員らの認識		中西美裕	202406	教育文化学年報,19,71-79	-
学会・研究会等発表	居場所づくりに対する「支援」概念の差異—校内居場所カフェをめぐる関係者の語り—		中西美裕	202406	第22回福祉社会学会大会	-
学会・研究会等発表	能登半島地震における七尾市矢田郷地区コミュニティセンターを中心とした子ども支援について		中西美裕	202407	日本子ども支援学会ワークショップ2024	-
学会・研究会等発表	学校内における居場所づくりでの支援者の戦略—《安心安全》と《傷つき》に着目した「支援の文化」に着目して—		中西美裕	202408	日本教育学会第83回大会	-
その他	第3章 マジョリティという観点からインクルージョンを考える		伊藤駿・村上詩織・中西美裕	202403	インクルーシブな教育と社会：はじめて学ぶ人のための15章,35-49,書籍の分担執筆です。	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大阪大学次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	中西美裕	202406	大阪大学学際大学院推進機構

学生氏名	秋山 みき		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	公正な教育実践に伴う葛藤への対処方法—人権・同和教育実践を蓄積する学校の事例から—		秋山みき	202407	学校教育研究,39,116-132	○
学会・研究会等発表	公正な教育実践に伴う教員の葛藤—支援対象の決定プロセスに着目して—		秋山みき	202410	日本特別ニーズ教育学会 (SNE 学会)	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	秋山みき	202404	大阪大学学際大学院機構

学生氏名	土屋 友衣子		学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	非母語話者支援者から見た CLD 児童・生徒の母語を活用した教育：日本語初期指導教室 X における遠隔型母語読み聞かせの試みから		土屋友衣子	202406	教育文化学年報,19,141-150	-
学会・研究会等発表	マイクロアグレッションの分野横断的考察：理論研究と事例研究の観点から		客本敦成・奥村晴奈・岸田月穂・土屋友衣子	202409	カルチュラルスタディーズ学会 Cultural Typhoon2024	-
学会・研究会等発表	子どものもつことばと文化を活用した遠隔型読み聞かせ活動の可能性：日本語初期指導教室における大学生の実践から		土屋友衣子・阿竹仁以奈・菊池寛子	202410	子どもの日本語教育研究会 2024年度研究会	○

2-2-4. 共生学系

共生学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	92 名	83 名	90.2 %	46 名	50.0 %	

指導教員	齊藤 弥生	研究分野	共生の人間学
------	-------	------	--------

学生氏名	MUSTAKIM MALIKA	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	知的障がい者の地域生活支援における支援スタッフの役割—社会福祉法人 X の事例を通して	Mustakim Malika	(選択)	日本地域福祉学会第 38 回大会	-	

学生氏名	段畑 実生	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	精神障がいのある若者を対象とした地域福祉に関する一考察—デンマーク・ロスキレ市における自治体と市民団体の協働による取り組みを事例として	段畑 実生	202503	『地域福祉研究』,13,印刷中	○	

学生氏名	葉上 千紘	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	スウェーデンにおける学校選挙 (Skolval 2022) : 生徒の参加に注目して	葉上千紘	202411	北ヨーロッパ研究,20,印刷中	○	
学会・研究会等発表	スウェーデンの学校教育における模擬選挙を活用した実践の一考察: 参加を通してシティズンシップを学習する視点から	葉上千紘	202406	日本シティズンシップ教育フォーラムシティズンシップ教育研究大会 2024	-	

学生氏名	石岡 まどか	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	地域における子どもの育ちとセーフティネットの構築に関する研究	石岡まどか	202405	日本社会関係学会月例研究会	-	
学会・研究会等発表	子どもの居場所づくり実践の可能性を活かす要件に関する研究—子どもの視点を取り入れた関係論的アプローチによる事例分析を通じて—	石岡まどか	202406	日本地域福祉学会第 38 回大会	-	
国際会議 (proc なし)	The possibility of safety net linking children's participation and protection: A community-based approach through 'Ibasho' practices in Japan",	石岡まどか	202406	FISS & EASP conference	○	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和 6 年度 大阪大学 学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	石岡まどか	202407	大阪大学学際大学院機構

指導教員	近藤 和敬	研究分野	共生の人間学
------	-------	------	--------

学生氏名	黒木 萬代	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
その他	ハードボイルドな乙女のかわいい倫理	黒木萬代	202405	ユリイカ,56,6,135-143	-	

学生氏名	佐々木 晃也	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	Sentire, quae velit: スピノザにとっての哲学すること	佐々木晃也	202409	日仏哲学会 2024 年秋季大会	-	
解説・総説	ジョルジュ・カンギレム「今日のフランスにおいて哲学者とは何であるのか？」訳者解説	佐々木晃也	202502	『フィルカル』,9,3,100-107	-	

その他	巻き込まれた哲学	佐々木晃也	202411	『現代思想』2024年12月号,52,18,230-230	-
その他	誰が哲学者と呼ばれうるのか——「日本における企業内哲学の実際」とその分析	佐々木晃也	202502	『フィルカル』,9,3,8-42	-
その他	「今日のフランスにおいて哲学者とは何であるのか？」	ジョルジュ・カンギレム (単訳:佐々木晃也)	202502	『フィルカル』,9,3,86-99	-
その他	被統治者の倫理:スピノザとアディアフォラ	佐々木晃也	202502	『現代思想』2025年3月号,53,3,印刷中	-
その他	「スピノザに従えば、ひとは以下にして哲学者になるのか」	ピエール・マンシュレ (単訳:佐々木晃也)	202503	『共生学ジャーナル』,9,印刷中	-
その他	「哲学×対話」概論	佐々木晃也	202503	(仮題)『芸術教養講座11』岩元宏輔編第12章を執筆,印刷中	-
その他	「哲学×対話」事例	佐々木晃也	202503	(仮題)『芸術教養講座11』岩元宏輔編第12章を執筆,印刷中	-

学生氏名	香川 祐葵	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	仮想のイメージとアイデンティティの関係	香川祐葵	202407	表象文化論学会 第18大会	-
書評	〈書評〉伊藤守『フェリックス・ガタリ思想』	香川祐葵	202412	図書新聞,3667	-

学生氏名	LIN GONGYU	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ドン・ジョヴァンニ、ニーチェのもう一つの名前——バタイユにおけるシミュラクルの行方——	LIN GONGYU	202503	『共生学ジャーナル』,9,印刷中	○
学会・研究会等発表	不可能なものの乗り越え——バタイユとラカンの享樂をめぐる——	LIN GONGYU	202403	日仏哲学会	-

学生氏名	池田 信虎	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	フーコーの哲学史? : フーコーとカンギレムにおけるアリストテレスの位置付けを巡って	池田信虎	202407	2024年度哲学若手研究者フォーラム研究集会	-
学会・研究会等発表	「概念の哲学」再考試論 フーコー・カンギレム・バシュアール	池田信虎	202411	現代思想研究会(哲学の実験オープンラボ 公認プロジェクト)	-
学会・研究会等発表	エピステモロジー再考: 合理性、合理主義、合理論あるいは理性	池田信虎	202412	ワークショップ「エピステモロジーの明日へ」	-
その他	哲学と非哲学の接触としての哲学 —カンギレムとフーコーの個体論について—	池田信虎	202405	市田良彦『フーコーの〈哲学〉』合評会	-

学生氏名	三宅 萌	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	プロジェクト基盤型学習 (PjBL) を通じた学際共同研究についての考察と報告: 資生堂プロジェクト「十年後の美しさを作る化粧のあり方」を事例として	三宅萌、王鈺、物江祐弥	202410	Co* Design NOTE,6,1-28	-
学術論文	La dynamique de l'unité et la pluralité chez Merleau-Ponty : la chair sous l'angle du « style »	Moe MIYAKE	202411	Alter : Revue de phénoménologie,32,印刷中	○
学術論文	メルロ=ポンティにおける感性的なものとのロゴス	三宅萌	202503	第75回美学会全国大会 若手研究者フォーラム発表報告集,印刷中	○
学会・研究会等発表	メルロ=ポンティにおける感性的なものとのロゴス	三宅萌	202410	第75回美学会全国大会 若手研究者フォーラム	○

学生氏名	LI QINGLING	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	中国における帝国日本による性管理構造の変容——河南省安陽を中心とする考察	李青凌	202410	女性・戦争・人権,23,139-157	○
学会・研究会等発表	《一个日本士兵的阵中日记》与日军“兵站附属设施”型慰安所	李青凌	202408	新史料与新视野—第二届“南京大屠杀史研究青年学者研讨会”	○

学生氏名	HECTOR UCLES		学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Academic article: Postcolonial reading of Natsume Soseki: anticolonial inclinations and its limitations		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202503	Kyosei Journal, Osaka University	○
学術論文	Academic article: Coloniality as project of national identity: Postcolonial reading of Froylán Turcios		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202503	IDEA – Interdisciplinary Discourses, Education and Analysis, London Center for Interdisciplinary Research	○
国際会議 (proc なし)	Conference: Postcolonial reading of I am a Cat by Natsume Soseki		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202403	PARIS - KOBE - OSAKA Philosophie contemporaine au Japon et en France PASSAGES PHILOSOPHIES VIII - 28 mars 2024 Université Paris Nanterre Bâtiment Ricoeur salle des conseils	-
国際会議 (proc なし)	Conference: Postcolonial reading inside “I’m a Cat” of Natsume Souseki		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202406	Philosophy at Play Conference: Postcolonial Approaches to Play Theories and Practices	-
国際会議 (proc なし)	Conference: The Role of the Honduran Native Informant During the Modernization Period Inside Froylan Turcio’s Narrative		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202408	International Conference on Postcolonial Studies: Trajectories and transitions of (Post)Colonialism	-
国際会議 (proc なし)	Conference: “Reading Tanabe’s concept of Metanoetics from Spivak’s postcolonial perspective”		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202409	European Network of Japanese Philosophy: The Past in the Present	-
国際会議 (proc なし)	Conference: El papel del Informante Nativo durante el período de modernización hondureña dentro de la narrative de Froylán Turcios		UCLES FLORES HECTOR BENJAMIN	202410	Asociación Japonesa de Hispanistas	-

学生氏名	高柳 瞭太		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	怒り／錨を上げる、沈黙を破る—パレスチナ／イスラエル問題に応答するポジショナリテイの複数性		藤阪希海, 周氷竹, 高柳瞭太, 山口舞桜	202409	カルチュラル・タイフーン神戸 2024	○
国際会議 (proc なし)	For Déconstruction of Japanese Philosophy to Come: Lessons from Derrida’s Letter to Izutsu		Ryota Takayanagi	202409	8th European Network of Japanese Philosophy	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	高柳瞭太	202404	大阪大学

学生氏名	石長 佑一		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	The hybrid reality of technical objects in Simondon’s technology		石長佑一	202403	Passages philosophiques VIII Philosophie contemporaine au Japon et en France	-
学会・研究会 等発表	サイボーグは悪人か? : bite 時代のコミュニケーション		石長佑一	202404	【合評会】『思想としてのアナキズム』	-
学会・研究会 等発表	シモンドンの人間機械論: 「発明」概念の検討を通じて		石長佑一	202407	2024 年度哲学若手研究者フォーラム	-
学会・研究会 等発表	シモンドン技術論における百科全書主義と自由の問題		石長佑一	202409	日仏哲学会	-
学会・研究会 等発表	新しさはどのようにやってくるのか: シモンドンとピアジェの比較から		石長佑一	202412	【ワークショップ】エピステモロジーの明日へ	-

学生氏名	濱田 力稀		学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ガタリと共生の条件		濱田力稀	202503	共生学ジャーナル	○
学会・研究会 等発表	フェリックス・ガタリと共生の可能性の条件		濱田力稀	202407	Deleuze Guattari Laboratory	-
学会・研究会 等発表	ガタリにおける二つの実践概念——サルトルとフーコーを通して		濱田力稀	202409	日仏哲学会	-
学会・研究会 等発表	『異界の歩き方——ガタリ・中井久夫・当事者研究』へのコメント		濱田力稀	202503	日本ガタリカンファレンス 2024	-

学生氏名	松木 貴弥	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「行為するもの」としての「この個物」	松木貴弥	202407	西田哲学会年報,21,115-131	○				
学術論文	ビーバーと行為的直観	松木貴弥	202503	共生学ジャーナル,9,印刷中	○				

学生氏名	布施 哲朗	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ジャン＝ミシェル・サルランスキの哲学におけるユダヤ性	布施哲朗	202407	若手哲学者フォーラム	-				
学会・研究会等発表	レヴィナスの「戦争」あるいは「全体性」の破れ目	布施哲朗	202411	現代思想研究会	-				
学会・研究会等発表	レヴィナス『全体性と無限』第Ⅱ部享受論における動物的主体の諸相	布施哲朗	202503	日仏哲学会	○				
大学・研究所等の報告	「レスポンス 記録と記憶の消滅と召命」	布施哲朗	202503	出来事の記録と生の記憶 クロード・ランズマン『SHOAH』をみる,印刷中	-				

学生氏名	瀧口 隆	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	ジル・ドゥルーズ『シネマ』における自由間接話法の射程	瀧口隆	202407	社会芸術学会	-				

学生氏名	中谷 碩岐	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	前期デリダのフッサール読解における正常性の問題	中谷碩岐	202411	現象学年報,40,103-118	○				
学術論文	麻雀の哲学：拡張バルクソン主義と深層強化学習型 AI のモデル検討を導きとした文理融合型アプローチを通じて	中谷碩岐, 宮原健輔, 山道宏紀, 大原迪久, 栗汰道	202503	哲学の探求,52,未定-未定	-				
学会・研究会等発表	麻雀の哲学：文理融合型アプローチを通じた新たな哲学的遊戯論の構築に向けて	中谷碩岐	202407	2024 年度哲学若手研究者フォーラム	-				
学会・研究会等発表	ポスト・モダンの「学問論」にむけて	中谷碩岐	202502	ワークショップ「ジャック・デリダ没後 20 年ミーティング」	-				
学会・研究会等発表	ジャック・デリダによる「真の超越論的現象学」の企図とその展開：『フッサール哲学における発生の問題』再読	中谷碩岐	202503	フッサール研究会 第 23 回研究会	○				
大学・研究所等の報告	なぜ麻雀が哲学の問題になるのか？：知能研究の「ポスト身体論的転回」に向けて	中谷碩岐	202412	研究発表セミナー「超域への扉」 第四回	-				
国際会議 (proc なし)	The Theory of Science of Gilles Deleuze	Hiroki NAKATANI	202407	The 16th International Deleuze and Guattari Studies Conference	○				
その他	ドゥルーズを生きる私たちの「実践的ライブニッツ主義	中谷碩岐	202406	合評会「平田公威『ドゥルーズ＝ガタリと私たち 言語表現と生成変化の哲学』」	-				
その他	Seamless Support for Ph.D. Students and Postdoctoral Researchers (博士在学中・卒業後の継ぎ目のない支援)	中谷碩岐, 市田光, 大引真理恵, Joceline Theda Kadarman	202411	大学院教育改革フォーラム 2024	-				
その他	ジャック・デリダ『思考』講義 (1960-61) の現象学的解釈：現象学的存在論から存在論的差異へ	中谷碩岐	202412	ワークショップ「ジャック・デリダ『思考すること、それはノンと言うことである』を読む」	-				
その他	麻雀の哲学と人工知能の哲学	中谷碩岐	202502	ワークショップ「人工知能とゲームの哲学」	-				
その他	21 世紀の現代思想を 20 世紀フランス思想史にマッピングする	中谷碩岐	202503	合評会「近藤和敬『人類史の哲学』」	-				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大学院学生国際学会海外派遣支援金	中谷碩岐	202405	大阪大学
助成金	大阪大学 超域イノベーション博士課程プログラム グループ型企画支援	中谷碩岐	202406	大阪大学 超域イノベーション博士課程プログラム

学生氏名	毎床 玲音	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	夢現、微睡みの先の絶対真理：グルニエーカミュのテキストにおける« indifférence »	毎床玲音	202407	2024(令和 6)年度 哲学若手研究者フォーラム 研究集会	-				

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	2024 新作童謡作詩作曲コンクール「ふたば賞」作詩部門 優秀賞	毎床玲音	202404	一般社団法人日本童謡協会
受賞	「第35回かぶらの里童謡祭」作詞募集 富岡市議会議長賞	毎床玲音	202404	群馬県富岡市、群馬県富岡市文化協会

学生氏名	板野 史記	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	『笑い』を中心としたベルクソンの社会的検討	板野史記	202412	現代思想研究会	-	
書評	書評:John Morreal 『Comic Relief: A Comprehensive Philosophy of Humor』	板野史記	202503	共生学ジャーナル,印刷中,大阪大学大学院人間科学研究科共生学系	-	

学生氏名	雪丸 温翔	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	アシーユ・ンベンベにおける主権の位置づけ—フーコー/アガンベンの生権力論との比較を通して—	雪丸温翔	202407	哲学若手研究者フォーラム	-	
書評	Achille Mbembe, Translated by Steaven Corcran NecroPolitics Duke University press, 2019年、213頁	雪丸温翔	202503	共生学ジャーナル,9,印刷中	-	

指導教員	中井 好男	研究分野	共生の人間学
------	-------	------	--------

学生氏名	藤阪 希海	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	怒り/錨を上げる、沈黙を破る—パレスチナ/イスラエル問題に応答するポジショナリティの複数性	藤阪希海, 周水竹, 高柳瞭太, 山口舞桜	202409	カルチュラル・タイフーン	○	
学会・研究会等発表	協働的オートエスノグラフィーと倫理的課題の乗り越え(難さ)——子どもとの実践を通じて	藤阪希海	202411	第97回日本社会学会大会	○	
国際会議(procなし)	What comes before voice?	Teppey Tsuchimoto, Nozomi Fujisaka, Aya Hayasaki, Mihoko Motooka, Chihiro Suzuki, Mao Yamaguchi	202407	International Conference of Autoethnography 2024	○	
その他	プロセスとしてのオートエスノグラフィーを考える	藤阪希海	202409	第2回オートエスノグラフィーと詩的探求フォーラム ワークショップ運営	-	

指導教員	稲場 圭信	研究分野	共生社会論
------	-------	------	-------

学生氏名	CHEN ZIYUN	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	ロックダウンが災害弱者へ及ぼす影響に関する研究—武漢市を事例に—	陳子昀	202403	共生学ジャーナル ,8,117-143	○	

学生氏名	中野 立開	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	リズムを刻む身体	松本淳也、中野立開、余玖欣	202409	カルチュラルタイフーン 2024	-	
学会・研究会等発表	越境する民族スポーツの変容—カポエイラはいかに日本で受容されているか—	中野立開	202409	カルチュラルタイフーン 2024	-	
国際会議(procなし)	An ethnographic approach to how capoeira players learn to make communal relationships with the opponent	Riku Nakano	202410	2024 East Asian Sport Sociology Forum	-	

指導教員	渥美 公秀	研究分野	共生行動論
------	-------	------	-------

学生氏名	内山 志保	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	災害発生時の学生ボランティアと大学による支援の意義と課題について—令和6年能登半島地震における2大学の事例をもとに	内山志保・大門大朗・水口学・渥美公秀	202501	災害と共生,8,1,31-44	○				
国際会議 (proc なし)	Insights from the 2024 Noto Peninsula Earthquake: New Disaster Myths in Japan and the Noto Peninsula Earthquake	Tomohide Atsumi, Hiroaki Daimon, Shigeo Tatsuki, Shiho Uchiyama	202405	DISASTER RESEARCH: INNOVATING FOR AN IMAGINED DISASTER FUTURE A Workshop in Honor of the Disaster Research Center's 60th Anniversary (Delaware)	-				
一般書	軽トラ市 K mobile-market まちが活きる可動商店街	戸田敏行・内山志保・鈴木伴季	202404	交文社 3章「仕掛け人が語る軽トラ市」、付録1「軽トラ市運営のアウトライン」	-				

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和6年度大阪大学 学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	内山志保	202404	大阪大学学際大学院機構

指導教員	宮本 匠	研究分野	共生行動論
------	------	------	-------

学生氏名	後藤 ガブリエラ	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Cambios Actitudinales Frente a los Textos Escritos y Mejora del Hábito Lector tras la Implantación de un Programa de Lectura Extensiva	・後藤ガブリエラ・Daniel Arrieta Domínguez	202405	日本・スペイン・ラテンアメリカ学会 (CANELA) 第36回大会	-				
学会・研究会等発表	出来島の学習支援教室に通う外国にルーツを持つ子どもたちの居場所の考察	・後藤ガブリエラ・宮本匠	202410	日本質的心理学会第21回	-				

学生氏名	LIU HONGQIAN	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	世代間交流と異文化交流の並行：地域多文化共生事業における高齢者ボランティアの役割に関する一考察	LIU HONGQIAN, 宮本匠	202408	日本グループ・ダイナミクス学会第70回大会	-				

指導教員	山本ベバリー・アン	研究分野	共生教育論
------	-----------	------	-------

学生氏名	木原 琴	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	トラウマを体験したバングラデシュの社会的養護下にある子どもへの支援—日本におけるトラウマインフォームドケアの視点を持つ支援に着目して—	木原琴	202403	南アジア・アフェアーズ,20,46-62	○				
学会・研究会等発表	バングラデシュの児童養護施設とボランティアの関わり—ホストとしての子どもに着目して—	木原琴	202402	国際ボランティア学会第25回大会	-				
学会・研究会等発表	バングラデシュの児童養護施設における子どもの「施設経営」への多様な関わり—質的調査をもとに子ども像、子どもの権利の捉え方を巡って—	木原琴	202403	関西社会福祉学会・日本社会福祉学会 関西地域ブロック	-				
学会・研究会等発表	バングラデシュの児童養護施設における子どもの自律と保護—性にまつわる言説と実践に着目して—	木原琴	202410	日本社会福祉学会 第72回秋季大会	○				

学生氏名	ENKHTUR OYUNDELGER	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc あり)	The Importance of Integrating Compassion into School Climate in Building the Right Human Relations. Mongolian Buddhist Studies Conference.	Enkhtur, O.	202408	Mongolica, Mongolian Buddhism	-
国際会議 (proc なし)	Impact of School Climate on the Implementation Quality of CSE	Enkhtur, O.	202503	CIES 2025	○

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	Financial aid for the participation in an international conference	Oyundelger Enkhtur	202503	Graduate School Of Human Sciences

学生氏名	松本 ミユ	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会 等発表	The potential of in-service training to enhance teacher readiness to implement quality comprehensive sexuality education: An analysis of two programs in two countries	Miyu Matsumoto, Beverley Anne Yamamoto	202411	Joint Congress on Global Health 2024	-
学会・研究会 等発表	Exploring the Feasibility of Integrating Comprehensive Sexuality Education into Japan's Health Education Curriculum	Miyu Matsumoto	202411	Joint Congress on Global Health 2024	-

学生氏名	MARTINEZ JORGE NICOLAS	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Estado, salud y políticas públicas. Reflexiones sobre los agentes sanitarios en Posadas y Eldorado, Misiones-Argentina	Jorge N. Martínez, Miguel A. Avalos y María F. Báez	(選択)	Revista de Salud Pública, 25, 5, In press-In press	○
国際会議 (proc あり)	Contributions of the community psychology framework in addressing rural health context in Latin America and Japan	MARTINEZ, Jorge Nicolas	202402	The 1st global community psychology seminar in Asia	○
国際会議 (proc あり)	Scoping Review of the Role of School Nurses in Supporting Children with Complex Medical Care Needs in the Context of Inclusive Education.	MARTINEZ, Jorge Nicolas TOMOMATSU, Ikuko YAMAMOTO, Beverley Anne	202411	Joint Congress on Global Health 2024	○
国際会議 (proc あり)	Collaborative Approaches to Rural Health Promotion: Insights from Kochi's Annual Health Check Program	MARTINEZ, Jorge Nicolas	202411	Joint Congress on Global Health 2024	○

指導教員	ETZRODT CHRISTIAN	研究分野	共生教育論
------	-------------------	------	-------

学生氏名	ZHANG SHIYUN	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Student Perceptions and Experiences in the International Baccalaureate: A Comparative Analysis of Japan and China	Shiyun Zhang	202410	International Journal of Education Humanities and Social Science, 7, 5, 327-351	○
学術論文	Liberal Arts Education and the International Baccalaureate: Elite Pathways Amid the Massification of Degrees.	Shiyun Zhang	202412	International Journal of Education Humanities and Social Science, 7, 6, 91-110	○
学術論文	Navigating Cultural Dissonance: International Students' Adaptation in Japan During COVID-19—A Phenomenological Study Integrating Hofstede's Cultural Dimensions.	Shiyun Zhang	202502	International Journal of Education Humanities and Social Science, 8, 1, 48-102	○
学術論文	Cultural Capital in the Age of Global Education: Examining the Rise of the International Baccalaureate	Shiyun Zhang	202503	共生学ジャーナル / Journal of Kyosei Studies	-
学会・研究会 等発表	A Comparative Study of Parental Perspectives on the Reception of International Baccalaureate Education in Japan and China	Shiyun Zhang	202409	日本バカロレア教育学会, 日本バカロレア教育学会	-

指導教員	澤村 信英	研究分野	国際協力学
------	-------	------	-------

学生氏名	山口 菜々果	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	ケニアにおける保護者の「教育熱」が生じるプロセス—学校経験の意味づけと夫婦間の役割意識に着目して—		山口菜々果	202412	アフリカ教育研究,15,93-104	○			
学会・研究会等発表	ケニアにおける「教育熱」の意味—保護者のライフヒストリー分析から—		山口菜々果	202404	アフリカ教育学会第33回大会	-			
学会・研究会等発表	ケニアにおける教育改革の意味と役割—保護者の視点から—		山口菜々果	202410	アフリカ教育学会第34回大会	-			
学会・研究会等発表	ケニアにおける教育改革と「教育熱」—保護者と教員の認識をめぐって—		山口菜々果	202411	国際開発学会第35回全国大会	○			

○受賞/研究助成

受賞	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	アフリカ教育学会第33回大会 優秀研究発表賞	山口菜々果	202404	日本アフリカ教育学会
受賞	アフリカ教育学会第34回大会 優秀研究発表賞	山口菜々果	202410	日本アフリカ教育学会

指導教員	杉田 映理	研究分野	国際協力学
------	-------	------	-------

学生氏名	門上 綾	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	バングラデシュ村落部における給水施設協同管理システムの成立要因の検討—水利用者とDPHE 職員のインタビューから—		門上 綾	202502	ボランティア学研究,25,1-17	○			

学生氏名	マイヤー 幸子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	コートジボワールにおける正課衛生教育と正課外活動が人々の衛生活動の構造化に資するまで—内戦終結後の復興期にエボラ出血熱パンデミック下で衛生教育を受けた大学生の語りから—		マイヤー清水幸子	202409	沙漠研究,34,2,35-51	○			
学術論文	コートジボワールにおける衛生教育のグローバルイニシアチブを目指す—西洋と地域文化の共生の可能性を考察して—		マイヤー清水幸子	202503	グローバルデザイン論叢,9,1,印刷中,吉備国際大学紀要	-			
学会・研究会等発表	コートジボワールの衛生教育はフランサフリックのジレンマを乗り越えられるか?—衛生教育の形成過程から考察して—		マイヤー清水幸子	202411	国際開発学会第35回全国大会	-			
書評	「加藤正明著『語り継がれる想い トマ・サンカラの遺産』」		マイヤー清水幸子	202407	日本沙漠学会「おあしす」,33,4,16-17	-			

学生氏名	小塩 若菜	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	高校生の月経対処からみる日本の月経教育の課題—大阪の教師と生徒の語りから—		小塩 若菜, 杉田 映理	202403	未来共創,11,63-99	-			
学会・研究会等発表	月経時の水泳の授業への参加—大阪府の生徒と教師へのインタビューから—		小塩 若菜	202406	2024年度日本女性学会大会	-			
学会・研究会等発表	ジンバブエにおける生理用品の廃棄方法をめぐる課題—文献レビューと予備調査の結果をもとに—		小塩 若菜	202406	国際開発学会 第25回春季大会	-			

学生氏名	宮村 侑樹	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	インドにおける州内出稼ぎ労働者の子どもの移動と学校教育—教育制度における位置付けと教員・保護者の移動の認識に着目して—		宮村侑樹	202502	比較教育学研究,70,印刷中	○			

学会・研究会等発表	月経の尊厳を目指して：アフリカ、欧米、アジアに広がるボトムアップの活動	杉田映理・小塩若葉・宮村侑樹	202404	第33回日本ナイル・エチオピア学会学術大会・シンポジウム「サニテーションと月経をめぐる課題の諸相—沈黙の殻をやぶり動き出した世界—」	-
学会・研究会等発表	The Relations Between Labour Migrants and Educational Choices for Their Children in India	Yuki Miyamura	202409	BRITISH ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL & COMPARATIVE EDUCATION 2024	○
その他	MeW プロジェクトの活動について	小塩若葉・宮村侑樹	202404	大阪大学人間科学研究科人間科学学際研究特講	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和6年度科学研究費助成事業 特別研究員奨励費	宮村侑樹	202404	日本学術振興会
助成金	JEES・ユネスコ研修プログラム奨学金	宮村侑樹	202406	公益財団法人 日本国際教育支援協会

学生氏名	FU RUOLIN	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	中国農村部における寄宿学校の女子寄宿生の月経対処の環境的要因 —貴州省の公立小学校を事例に—	FU RUOLIN	202411	国際開発学会第35回全国大会	-	
学会・研究会等発表	中国農村部における寄宿学校の女子寄宿生への月経に関する知識伝達の形態 —貴州省の公立小学校を事例に—	FU RUOLIN	202411	第39回日本国際保健医療学会学術大会 グローバルヘルス合同大会2024	-	
国際会議 (proc あり)	Forms of Knowledge Transmission on Menstruation among Female Boarding Students in Rural China's Boarding Schools: A Case Study of Public Primary Schools in Guizhou Province	FU RUOLIN	202411	International Society for Sanitation Studies (ISSS) Annual Conference 2024	-	

学生氏名	PHAM MINH CHAU	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学会・研究会等発表	Parent-Adolescent Communication About Sex Education in the Urban Area of Vietnam	Pham Minh Chau	(選択)	International Education Development Forum 2024	-	

指導教員	大谷 順子	研究分野	地域創生論
------	-------	------	-------

学生氏名	WANG YIXUAN	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	中国の被災コミュニティにおけるソーシャル・キャピタルの有効性の違い—都市コミュニティ、移行期コミュニティ、農村コミュニティの比較に着目して	王 藝璇	202403	未来共創,11,25-56	○	
国際会議 (proc あり)	Assessing social capital in flood-stricken Zhengzhou, China: Insights across urban, transitional, and rural communities	WANG YIXUAN	202406	The 20th East Asian Social Policy Network (EASP) /The 30th Foundation for International Studies of Social Security (FISS) Joint International Conference	○	
国際会議 (proc あり)	Community Resilience in China's Urbanization Process: Evidence from the Flood-Affected Areas of Henan, China	WANG YIXUAN	202407	Association for Asian Studies (AAS-in-Asia) 2024	○	

学生氏名	LI JING	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (proc なし)	Research on Women's Self-Help Community During Long-Term Evacuation: Following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident	LI JING	202406	2024 Joint East Asian Studies Conference (JEASC)	○	
国際会議 (proc なし)	Research on Women's social capital During Long-Term Evacuation: Following the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident	LI JING	202412	PESA (Philosophy of Education Society of Australia)	○	

学生氏名	新井 凜子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	中国人学生の語りに見る留学と日本：留学先としての日本の位置づけ	新井凜子	202502	日中社会学研究,32,2-13	-				
学術論文	中国における教育過熱：6つの視点	新井凜子・大谷順子	202503	人間科学研究紀要,51,111-130	-				
学会・研究会等発表	中国人学生の語りに見る留学と日本：今、なぜ日本なのか	新井凜子	202406	日中社会学会第36回大会 シンポジウム II 「日中交流の展望を問うー日本留学と社会学研究の展開」	-				
学会・研究会等発表	国家と身体の間：生殖の言説を読み解く「モビリティと生殖 I：移民女性の出産経験と社会的言説の相互関与」	周氷竹・新井凜子	202409	社会言語科学会 第5回スチューデント・ワークショップ	○				
学会・研究会等発表	移動する女性の出産とネットワーク：中国から日本に移住した女性の語り	新井凜子・周氷竹	202412	日中社会学会 『21世紀東アジア社会学』第14号特集オンライン研究会	-				
国際会議 (proc あり)	地域研究における学際融合と知の創出	新井凜子	202410	第五回日中若手研究者フォーラム	-				
国際会議 (proc なし)	Contingent migratory journeys of Chinese students in Japan: from internal migration to studying abroad	Arai Rinko	202407	AAS-in-Asia 2024(Association for Asian Studies)	○				
国際会議 (proc なし)	From Collective Discourse to Personal Recollection: Narratives Beyond Borders in Education Migration of Chinese Youth	Arai Rinko	202503	AAS 2025(Association for Asian Studies)	○				

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和6年度科学研究費助成事業 特別研究員奨励費	新井凜子	202404	日本学術振興会

学生氏名	YAO YUXUAN	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Work-life balance: redefining and rethinking the support framework	Yuxuan Yao	202406	SN Social Sciences,4,118,1-19	○				
学術論文	日常生活ルーティンと語りからみる中国の介護職の実態ーケアの社会学の視点からー	姚雨軒	202502	『日中社会学研究』印刷会社校正中,32,114-124	○				
国際会議 (proc なし)	An Alternative Perspective on Elderly Care Workers in East Asia: Exploring the Interplay Between Social Welfare and Personal Well-Being	Junko Otani, Yuxuan Yao	202411	グローバルヘルス合同大会 口頭発表	-				

学生氏名	島村 優希	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	Toward a holistic Approach to Disaster Preparedness: A “Global Asias” Resilience Model	Junko Otani・Paola Cavaliere・Yixuan Wang・Yuki Shimamura	202407	2024 AAS-in-Asia Conference	-				
学会・研究会等発表	能登半島地震での足湯ボランティアにおける「つぶやき」の分析ーpart2 質的分析ー	島村優希・南太賀・頼政良太	202411	日本災害復興学会大会 (2024・長岡)	-				
学会・研究会等発表	Women's and children's experiences and decisions on education following disasters: cases in Japan, China, and global	Junko Otani・Paola Cavaliere・Jing Li・Yuki Shimamura・Carol Mutch	202412	PESA Conference 2024	-				

○受賞/研究助成

助成金	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	大学院学生国際学会海外派遣支援金	島村優希	202408	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

指導教員	太田 貴大	研究分野	コンフリクトと共生
------	-------	------	-----------

学生氏名	平木 雅	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学会・研究会等発表	日本における国内外来種研究の特徴と意義	平木雅・太田貴大	202409	第27回日本環境共生学会学術大会発表論文集,32-33	-				
学会・研究会等発表	日本における国内外来種研究の特徴と意義	平木雅・太田貴大	202409	第27回日本環境共生学会学術大会	-				
学会・研究会等発表	Dealing with or Tolerate Domestic Alien Species: Local-Country Scales Cases in Japan	Masashi Hiraki	202409	第5回環境共生セミナー	-				

学会・研究会 等発表	国内外来種と地域社会の関係に関する質的調査—半構造化インタビューを中心に—	平木雅・太田貴大	202412	第29回「野生生物と社会」学会	-
解説・総説	日本における国内外来種研究の特徴と意義	平木雅・太田貴大	(選択)	環境共生,印刷中	○
国際会議 (procなし)	Considering of Regarding Domestic Alien Species in Japan and Indonesia	Masashi Hiraki・Takahiro Ota	202411	ALUMNI JOB MARKET EVENT AND NATURAL RESOURCES SEMINAR "SUSTAINABLE NATURAL RESOURCE MANAGEMENT BASED ON LOCAL WISDOM"	-
その他	Geographic information system(GIS) dan remote sensing	Masashi Hiraki	202409	FISIKA FMIPA Universitas Palanagka Raya での特別講義	-

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
受賞	1st best power point multidisciplinary science	Masashi Hiraki	202411	FAPERTA Universitas Palangka Raya
助成金	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	平木雅	202407	大阪大学人間科学研究科・教育改革推進室

2-2-5. PDの研究記録

行動学系

指導教員	鹿子木 康弘	研究分野	比較発達心理学
------	--------	------	---------

氏名	千々岩 眸		PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	Infants' social evaluation of helpers and hinderers: a large-scale, multi-lab, coordinated replication study	Lucca, K., Capelier-Mourguy, A., Cirelli, L., Byers-Heinlein, K., Dal Ben, R., Frank, M. C., ... & Hamlin, K.	202411	Developmental Science,28,e13581	○	
学術論文	子どもの公正世界信念の発達	鹿子木 康弘, 田辺 和奏, 千々岩 眸, 小國 龍治, 萩原 広道	(選択)	心理学研究,早期公開,印刷中	○	
学術論文	悪性・良性妬みによって6歳児の妬み行動は生起するのか?	石川 萌子, 吉沢 和, 千々岩 眸, 鹿子木 康弘	(選択)	発達心理学研究,36,印刷中	○	
学会・研究会等発表	6歳児は悪性・良性妬みに基づいた妬み行動を示すのか	石川 萌子, 吉沢 和, 千々岩 眸, 鹿子木 康弘	202409	日本心理学会第88回大会	-	
学会・研究会等発表	Evaluation of the relationship between dogs and cats living in the same household in Japan	Hitomi Chijiwa, Saho Takagi, Yasuhiro Kanakogi	202410	日本動物心理学会第84回大会	-	
その他	育児・研究における「受援力」の大切さ	千々岩眸	202406	動物心理学研究,74,31-33,意見論文	○	

○受賞/研究助成

	賞名/助成金の名称	受賞者名/採択者名	年月	授与団体名
助成金	令和6年度科学研究費助成事業 特別研究員奨励費	千々岩眸	202404	日本学術振興会